
「文京区子ども読書活動推進計画」進捗状況

令和5年度実績 調査結果

令和6年9月

文京区教育委員会

目標及び事業一覧

目標1 発達に応じた読書機会の提供	
1	ブックスタート事業の充実
2	ブックスタートのフォローアップ事業の充実
3	おはなし会や読み聞かせ等本に触れる機会の提供
4	発達段階にあった図書館行事の充実
5	子育て支援施設における読書活動の充実
6	ブックリスト（推薦図書）の作成
7	YA（ヤングアダルト）を対象としたサービスの充実
目標2 家庭・地域・学校・関係機関における子どもの読書環境の整備と読書活動の充実	
8	図書館と学校や施設との連携・支援体制の充実
9	幼稚園・保育園・児童館等の図書と設備の充実
10	乳幼児とその保護者が図書館を利用しやすい環境作り
11	特別な支援を必要とする子どものためのサービス及び資料の充実
12	特別支援学級等配慮が必要な児童・生徒の読書活動の推進
13	外国語図書の整備・充実
14	電子書籍の活用
15	入院中の子どもへのサービスの充実
16	学校における読書時間の確保
17	読書指導計画の策定
18	学校における読書活動の推進
19	調べ学習への支援
20	学校図書館への人的支援による機能の充実
21	学校図書館の活用と資料の充実
22	高等学校図書館との連携・支援体制の構築
目標3 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発	
23	保護者等への啓発
24	子どもへの啓発
25	プレママ・プレパパへの啓発
26	文京区の子ども読書活動に関する情報窓口（ホームページ）の充実
27	子どもの居場所としての図書館の利用推進
28	子ども向けホームページの充実
29	「文京区子ども読書活動推進計画」実施のための進行管理
目標4 地域団体等との協働による子どもの読書活動の活性化	
30	職員・教員の研修の充実
31	図書館職員の研修の充実
32	区内の大学等との連携の推進
33	区内にある児童図書出版社や書店との連携の推進
34	区関係機関との協力・連携体制の推進
35	図書館ボランティア（ライブラリーパートナー）の育成と連携
36	学校図書館のボランティアへの支援
37	地域社会における読書活動を推進する団体等との連携の推進

目標 1 発達に応じた読書機会の提供

乳幼児期からの読書習慣の確立のため、図書館をはじめ、家庭や幼稚園、保育園、児童館などにおいて、発達段階に応じて子どもが本に出会い親しむ機会がもてるよう取り組み、さらなる充実を図ります。

1

事業名	ブックスタート事業の充実	所管課	真砂中央図書館 保健サービスセンター
内 容	保健サービスセンターで実施される4か月児健診時に、絵本の読み聞かせを行い、絵本や図書館の紹介が入ったブックスタートパックを手渡し、親子のふれあいを通した本との出会いのきっかけ作りとする。		
現 況	配付人数2,010人：対象者の95.5%（令和元年度）		
目 標	4か月児健診参加者全員への配付を継続するとともに内容の充実を図る。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 保健サービスセンターとの連携により図書館の紹介を行い、ブックスタートパックを配付した。 ○ 対象者 1,911人 健診参加者 1,774人、図書館配付 30人 計 1,804人(対象者配付率 94.4%)		
成果と課題	○ 健診会場での読み聞かせを再開できた。ブックスタートパックを手渡す際には、絵本をとおして楽しい時間を過ごしてほしいことを保護者に伝えた。健診に参加していない対象者へも周知に努めた。		
今後の取組	○ 引き続き、ブックスタートパック配付の際は、事業の趣旨や赤ちゃんとの絵本の楽しみ方を解説したリーフレットを渡すとともに、親子のふれあいのツールとして絵本や図書館を活用してもらうことを伝える。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 保健サービスセンターとの連携により図書館の紹介を行い、ブックスタートパックを配付した。 ○ 対象者 1,871人 健診参加者 1,771人、図書館配付 11人 計 1,782人(対象者配付率 95.2%)		
成果と課題	○ 新型コロナウイルス感染拡大防止における影響が残り、保健サービスセンターの意向で、健診会場での読み聞かせは1年をとおして再開できなかったが、ブックスタートパックを手渡す際には、絵本をとおして楽しい時間を過ごしてほしいことを保護者に伝えた。健診に参加していない対象者への配付に課題があるため、4か月児健診のお知らせ時にもブックスタートの案内の同封を行い、周知に努めた。		
今後の取組	○ 引き続き、ブックスタートパック配付の際は、事業の趣旨や赤ちゃんとの絵本の楽しみ方を解説したリーフレットを渡すとともに、親子のふれあいのツールとして絵本や図書館を活用してもらうことを伝える。また、読み聞かせの再開について、保健サービスセンターと協議する。		

2

事業名	ブックスタートのフォローアップ事業の充実	所管課	真砂中央図書館
内 容	ブックスタートから継続して読書活動が行われるように、読み聞かせを行い図書館バッグと絵本を配付する「としょかんとなかよし」を月2回実施する。		
現 況	1歳6か月児を対象 配付数674袋：対象者の33%（令和元年度）		
目 標	SNSを活用した広報活動に努めるとともに内容の充実を図る。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 「としょかんとなかよし」を対象全8館で月2回実施した。 ○ 子育て応援メールマガジンの通常配信に加え、追加配信による広報を行った。（2回） ○ 対象者1,784人 配付数 1026冊（対象者の57.5%）		
成果と課題	○ イベントは年間を通して行うことができたが、イベントに参加せず、開館時間中に絵本を受け取るだけの人も多く、イベントでの配付率は全体の約21%だった。今後はイベントの参加と利用者登録の増加を図ることが課題である。 ○ 対象者への配付率が減少した。子育て応援メールを配信すると参加者が増加する傾向にあるため、配信を増やすなど更に周知方法の工夫が必要である。 ○ 図書館バッグについて、配付対象外の子どもからバッグが欲しいという要望が多数あり、新規登録をした未就学児全員に配布することとした。事業参加者には絵本を配付した。		
今後の取組	○ 引き続きメールマガジンによる広報活動にも努め、イベントへの参加を積極的に促すとともに、図書館利用及び登録につなげる丁寧な説明を行う。		

● 進捗状況（令和4年度の取組等）	
実 績	○ 「としょかんとなかよし」を対象全8館で月2回行った。 ○ 子育て応援メールマガジンの通常配信に加え、追加配信による広報を行った。（2回） ○ 対象者 1,847人 配付数 1,197袋 （対象者の64.8%）
成果と課題	○ 対象者への配付率は増加した。 ○ イベントは年間をとおして行うことができたが、イベントに参加せず、開館時間中に図書館バッグと絵本を受け取るだけの人も多く、イベントでの配付率は全体の約21%だった。今後はイベントの参加と利用者登録の増加を図ることが課題である。 ○ 「としょかんとなかよし」対象者のみ配付している図書館バッグについて、配付対象外の子どもからバッグが欲しいという要望が多数あるが、応えられていない。
今後の取組	○ 引き続きメールマガジンによる広報活動にも努め、イベントへの参加を積極的に促すとともに、図書館利用及び登録につなげる丁寧な説明を行う。また、ポスター等の周知方法についても参加者増につながる内容に見直す。また、イベント自体のあり方についても検討する。 ○ 図書館バッグは「としょかんとなかよし」事業とは切り離し、利用登録をした未就学児全員に配付することにより、利用登録促進につなげるとともに、継続した図書館利用を促す。

3

事業名	おはなし会や読み聞かせ等本に触れる機会の提供	所管課	幼稚園・保育園・児童館
内 容	日々の活動の中におはなし会や絵本・紙芝居の読み聞かせを積極的に取り入れ、子どもの想像力や豊かな心を育てる。		
現 況	各施設で読み聞かせやおはなし会を実施し、絵本コーナー等も設置している。		
目 標	図書館との連携を図り、子どもたちの身近な場所に本を置き、読み聞かせ等を行うことで本に触れる機会を増やす。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	【幼稚園】 ○ 読み聞かせの実施 全園 ○ 絵本コーナーの設置 全園 ○ 絵本の貸出 5園 ○ 保護者ボランティアや中学生による絵本読み聞かせ 8園 ○ 図書館員や外部講師によるおはなし会 9園 【保育園】 ○ 読み聞かせの実施 全園 ○ 絵本コーナーの設置 全園 ○ 絵本の貸出 2園 ○ 保護者ボランティアや中学生による絵本読み聞かせ 1園 ○ 図書館員や外部講師によるおはなし会 10園 【児童館】 ○ 読み聞かせ 全館（15館・休館中の柳町児童館を除く） ○ ストーリーテリング（おはなし会） 1館		
成果と課題	【幼稚園】 ○ 感染症の流行が収まった5年度からは、通常通り園内での絵本貸し出しを行っている。家庭によって差があり、持ち帰るだけで終わってしまう家庭もあり、貸し出しの意味を知らせていく必要を感じている。毎日読み聞かせをすることで、幼児の想像力を育てたり、遊びや生活のイメージを豊かにすることができた。 【保育園】 ○ 子どもの年齢や興味にあった絵本のコーナー作りをし、年齢ごとや季節に応じて入れ替えも行っている。 ○ 日常的に読み聞かせを行っており、図書館や外部からのおはなし会も定期的実施した。 【児童館】 ○ 絵本や紙芝居の読み聞かせについては全館で行っており、多くの児童館で週3回以上行っている。		
今後の取組	【幼稚園】 ○ 引き続き毎日降園時に幼児の発達や興味に合わせた絵本の読み聞かせを行う。 ○ 絵本コーナーの充実を図り、幼児の興味に合わせて絵本を設置し、貸出を行う。 ○ 引き続き保護者が読み聞かせのできる場を設け、保育者が様々な絵本のことを知り、時期や内容を考慮した絵本を選択し、読み聞かせができるようにし、親子で絵本に触れる機会を意図的につくっていく。 【保育園】 ○ 引き続き色々な絵本に親しみが持てるよう、年齢に合った絵本選びや配置を工夫したコーナー作りに取り組んでいく。 ○ 図書館と連携し、絵本の貸出を継続する。 ○ 外部のおはなし会による読み聞かせの機会を増やしていく。 【児童館】 ○ 引き続き、全館での読み聞かせを行っていくとともに、ストーリーテリング（おはなし会）の実施や本の貸出しを通して、絵本や紙芝居に限らず様々なジャンルの本に触れる機会を増やしていく。		

● 進捗状況（令和4年度の取組等）	
実績	【幼稚園】 ○ 読み聞かせの実施 全園 ○ 絵本コーナーの設置 全園 ○ 絵本の貸出 5園 ○ 保護者ボランティアや中学生による絵本読み聞かせ 6園 ○ 図書館員や外部講師によるおはなし会 5園 【保育園】 ○ 読み聞かせの実施 全園 ○ 絵本コーナーの設置 全園 ○ 絵本の貸出 1園 ○ 図書館員や外部講師によるおはなし会 5園 ○ 玄関やホール等への絵本コーナーの設置もしくはその充実 全園 【児童館】 ○ 読み聞かせ 全館 ○ ストーリーテリング(おはなし会) 1館
成果と課題	【幼稚園】 ○ 保護者や図書館からの訪問による読み聞かせを実施できた園もあった。絵本コーナー整備など読み聞かせ環境を整えたが、感染症対策の影響により貸出休止のままの園もあった。降園時の読み聞かせや週末の絵本貸出、さらに行事や活動に合わせた絵本の読み聞かせ、自由な絵本閲覧場所の設置などにより、子どもたちが本に触れる機会を定着させた。また、絵本コーナーや蔵書リストを整理し、外部講師によるおはなし会も開始できた。劣化した絵本の入れ替えと見直しは課題となっている。 【保育園】 ○ 絵本や紙芝居の読み聞かせを通じて子どもたちの興味を引き出したが、感染症対策の影響がまだ残る中、外部からの読み聞かせを制限したため、保育者による読み聞かせを充実させ、自由な閲覧環境を整えることに努めた。外部の人に読んでもらう機会は、また雰囲気が変わって子どもたちが関心を持っている様子がよく分かったため、増やすべきである。 【児童館】 ○ 絵本や紙芝居などの読み聞かせについては、全館で行っている。
今後の取組	【幼稚園】 ○ 引き続き、絵本コーナーの充実と読み聞かせを行っていく。時期を見て貸出を再開し、図書館からの訪問や保護者等による読み聞かせなど、外部と連携した読書活動も行っていく。 【保育園】 ○ 引き続き、子どもたちの興味に合った絵本や紙芝居の選定を行い、年齢や季節に合った絵本収集や点検を行うことで絵本コーナーの充実を図り、落ち着いた環境で絵本を楽しめるようにしていく。 ○ 図書館との連携強化や外部講師やボランティアとの交流を活用して、これまで感染対策の影響があった外部からの読み聞かせを充実させていく。 【児童館】 ○ 引き続き読み聞かせを行っていくとともに、ストーリーテリング(おはなし会)の実施を促し、絵本や紙芝居に限らず様々なジャンルの本に触れる機会を増やしていく。

4

事業名	発達段階にあった図書館行事の充実	所管課	真砂中央図書館
内 容	乳幼児からYA世代まで発達段階にあった行事を充実させ、子どもが本に親しむ機会を提供する。		
現 況	乳幼児向け読み聞かせの会や、小学生向けおはなし会、YA向け読書会等を実施している。 乳幼児向け 実績：212回、小学生・YA向け 実績：389回		
目 標	図書館員のスキルアップによる内容の充実を図り、新規参加者が増加する取組を実施する。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 乳幼児向け行事（279回 3,782人参加） ○ おはなし会等、幼児小学生向け行事（564回 8,307人参加） ○ 子ども映画会(22回 700人参加) ○ 乳幼児小学生向け行事としてパネルシアター、人形劇、子ども落語会、工作会等の行事を実施した。		
成果と課題	○ 新型コロナウイルス感染症は5類に移行し、年間をととして行事を行うことができ、安定した参加率を維持することができた。 ○ 利用者が多い時間帯や参加しやすい曜日、時間帯に行事を実施し、幼児からYA世代まで、様々な対象者の年齢に合わせた行事内容とし、各行事の差別化を図ることで、参加者の増加につながった。 ○ 保育園、幼稚園、児童館等での出張おはなし会で、図書館内で実施している行事のPRを行った。 ○ 職員が館内外の研修に参加し、新しい演目に取り組む等スキルアップを図り、内容の充実に努めたことに加え、読み聞かせやおはなし会でブックトークを取り入れるなど貸出に結び付ける工夫をした。 ○ 絵本等の読み聞かせだけではなく、フラワーアレンジメント教室、はんがであそぼう、昆虫標本、プログラミング教室、外国語絵本の読み聞かせ等、幅広いジャンルの行事を企画した。 ○ 近隣の中学校、高等学校と連携して行った行事では、小学生と中学生の触れ合いも見られ、世代間の交流の場を提供することができた。 ○ 乳幼児イベントの参加人数は増加しているが、小学生以上の参加は少ない。対象を小学生以上とすると、参加者数は伸び悩む傾向がある。 ○ YA向け行事ではYA世代の参加者が少ない。		
今後の取組	○ 引き続き、職員が館内外の研修等に参加し、他図書館の行事の見学も行うことで、更なるスキルアップを図る。また、行事では常に新たな演目に取り組む向上心を持ち続け、ブックトークなどの技術も磨いて貸出につなげる不断の努力を行う。 ○ YA世代に向け、近隣の学校やYAコミュニティにポスターやチラシを配付して周知するとともに、より効果的な広報の方法を検討する。 ○ 過去の参加傾向を分析し、需要の高い行事を再度行って継続的な参加者数の維持に努める。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 乳幼児向け行事（181回 1,789人参加） ○ おはなし会等、幼児小学生向け行事（328回 2,366人参加） ○ 各館で子ども会や子ども映画会、子ども落語会、工作会等の行事を実施した。		
成果と課題	○ 年度前半は新型コロナウイルス感染症の影響を受けていたが、年間をととして行事を行うことができ、参加者数は徐々に増加し、コロナ以前に戻りつつある。 ○ 職員が館内外の研修に参加し、新しい演目に取り組む等スキルアップを図り、内容の充実に努めたことに加え、読み聞かせやおはなし会でブックトークを取り入れるなど貸出に結び付ける工夫をした。 ○ 新規参加者を増やす取り組みとして、保育園等の出張おはなし会や外部のイベントに参加する際に、図書館行事のPRを行った。 ○ 乳児向け行事の参加者は比較的多いが、小学校中学年以上の参加は少ない。 ○ 小学校中学年からYA世代に向けた行事の充実化に向けて、YA世代の好む内容の映画などを週末に実施したが、参加は見込みより少なかった。 ○ 今後も幅広い年齢層が一同に楽しめる行事と、各世代に合った行事をバランスよく実施していくことが課題である。		
今後の取組	○ 引き続き、職員が館内外の研修等に参加しスキルアップを図りながら、おはなし会等での新たな演目に取り組み、ブックトークを取り入れるなど貸出に結び付ける。また、外部イベントに図書館が参加した際に、行事のPRを行う。 ○ 小学生中学年からYA世代に向けた行事についても、図書館全体で改善に向けた検討を行う。 ○ 定例行事と子ども会等とも、今後も内容や参加しやすい曜日、時間帯等を検討のうえ実施する。		

5

事業名	子育て支援施設における読書活動の充実	所管課	子育て支援課 子ども家庭支援センター
内 容	「ぴよぴよひろば」や「子育て広場」等子育てを支援する施設で、絵本コーナーの設置や読み聞かせ等を実施する。		
現 況	子育て講座等で絵本を活用している。		
目 標	団体貸出や読み聞かせ等、図書館との連携を図る。親子で読書に親しむ機会を増やすため、本を手にとりやすい環境を作り、読み聞かせ等を引続き充実させる。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	【子育て支援課】 ○ 絵本等の購入 子育てひろば 3箇所/3箇所、地域子育て支援拠点 4箇所/4箇所 ○ 出張おはなし会の実施 子育てひろば 0箇所/3箇所、地域子育て支援拠点 3箇所/4箇所 ○ 絵本の日常的な読み聞かせ等の実施 子育てひろば 2箇所/3箇所 地域子育て支援拠点 3箇所/4箇所 ○ 絵本コーナーの展示を季節ごとに入れ替える工夫 子育てひろば 3箇所/3箇所 地域子育て支援拠点 3箇所/4箇所 ○ 本の貸し出し 子育てひろば 1箇所/3箇所、地域子育て支援拠点 3箇所/4箇所 【子ども家庭支援センター】 ○ ぴよぴよひろばで、絵本の読み聞かせ、紙芝居等を随時実施 ○ 本の貸し出しを実施 ○ 絵本コーナーの展示を季節ごとに入れ替える工夫 ○ 絵本・大型絵本の購入 23冊 ※ 子育て講座は参加人数や開催時間等を工夫し開催した。		
成果と課題	【子育て支援課】 ○ 全施設が絵本を新規に購入し、絵本コーナーを設け、読書に親しむ機会を利用者へ提供できた。 ○ おはなし会や読み聞かせ等を定期的 to 実施するとともに、利用者への本の紹介や貸し出しを進めた。 ○ 子ども向けだけでなく保護者向けにも本を購入し、施設に訪れる利用者が本を手にとりやすい環境づくりを行った。 【子ども家庭支援センター】 ○ 読み聞かせが乳幼児の情緒発達に働きかけることを保護者が実感する機会を提供できた。 ○ 乳児の利用が多いため、大型絵本、仕掛け絵本など、絵本の選択に一層の工夫が必要である。		
今後の取組	【子育て支援課】 ○ 引き続き計画的に絵本の購入や読み聞かせ等を実施することで、施設を利用する親子に読書を親しむ場図書館からの団体貸出の利用を検討することで、施設を利用する親子に読書を親しむ場を提供するとともに、本を手にとりやすい環境を作っていく。 【子ども家庭支援センター】 ○ 引き続き、年間行事として取り組んでいる子育て講座や行事等で絵本の読み聞かせ等を実施し、読み聞かせが乳幼児の情緒発達に働きかけることを保護者が体感する機会を提供していく。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	【子育て支援課】 ○ 絵本等の購入 子育てひろば 3箇所/3箇所、地域子育て支援拠点 4箇所/4箇所 ○ 出張おはなし会の実施 子育てひろば 0箇所/3箇所、地域子育て支援拠点 3箇所/4箇所 ○ 絵本の日常的な読み聞かせ等の実施 子育てひろば 2箇所/3箇所 地域子育て支援拠点 4箇所/4箇所 ○ 絵本コーナーの展示を季節ごとに入れ替える工夫 子育てひろば 2箇所/3箇所 地域子育て支援拠点 3箇所/4箇所 ○ 本の貸し出し 子育てひろば 1箇所/3箇所、地域子育て支援拠点 1箇所/4箇所 【子ども家庭支援センター】 ○ ぴよぴよひろばで、絵本の読み聞かせ、紙芝居等を随時実施 ○ 本の貸し出しを実施 ○ 絵本・大型絵本の購入 33冊 ※ 子育て講座は参加人数や開催時間等を工夫し開催した。		

	成果と課題	【子育て支援課】 ○ 全施設が絵本を新規に購入し、絵本コーナーを設け、読書に親しむ機会を利用者へ提供できた。 ○ 新型コロナウイルス感染対策を講じながら、おはなし会や読み聞かせ等を再開した。 ○ 利用者が本を手にとりやすいよう紹介や貸し出しを進めるとともに、講習会等を通して年齢に応じた読書の楽しみ方を伝えられるよう工夫する。 【子ども家庭支援センター】 ○ 読み聞かせが乳幼児の情緒発達に働きかけることを保護者が実感する機会を提供できた。 ○ 乳児の利用が多いため、大型絵本、仕掛け絵本など、絵本の選択に一層の工夫が必要である。
	今後の取組	【子育て支援課】 ○ 絵本の購入や読み聞かせ等を引き続き実施するとともに、図書館からの団体貸出の利用を検討することで、施設を利用する親子に読書を親しむ場を提供し、本を手にとりやすい環境を作っていく。 【子ども家庭支援センター】 ○ 引き続き、年間行事として取り組んでいる子育て講座や行事等で絵本の読み聞かせ等を実施し、読み聞かせが乳幼児の情緒発達に働きかけることを保護者が体感する機会を提供していく。

6

事業名	ブックリスト（推薦図書）の作成	所管課	真砂中央図書館
内 容	乳幼児からYA世代まで発達段階に合った多様なブックリストの作成・配付を行い、読書のきっかけを作る。		
現 況	乳幼児向けに「えほんがすき」、小学生に「読んでみましょう」、中学生に「yomitan」等、発達段階にあったブックリストの作成・配付を行っている。		
目 標	年代に合わせた推薦図書の紹介等、引続き内容の充実を図り、周知を行う。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 乳幼児向けに「えほんがすき」、小学生に「読んでみましょう」「よんでみましょう2023」、中学生に「yomitan」、新中学生向けの「ぶんきょう来ぶらり～」と、発達段階にあったブックリストを作成し、配付した。 ○ ホームページにすべてのブックリストを掲載している。 ○ 調べ学習用の手助けとなるようにパスファインダーを作成した。（小石川） ○ 行事で読んだ本を紹介する冊子を作成し、新規利用者に配付した。（根津） ○ YAコーナーに過去のブックリストで紹介した本も含めて展示を行なった。（水道端）		
成果と課題	○ ブックリストの配付に合わせ、館内に特集コーナーを設けたことにより、図書の貸出につながった。また、調べ学習用のパスファインダーを作成し、これを使用して館内で図書館員が学習支援を行った。 ○ 年間のおすすめブックリストの作成においては、候補本を推薦する段階で分野別に選定する方法を取ったことにより、様々な分野の本をバランスよく選定できるようになった。		
今後の取組	○ 引き続き、ブックリストの作成にあたっては、利用者の読書のきっかけとなるよう幅広い分野の本をバランスよく選定するとともに、館内でのリストを活用した特集展示を継続して行う。 ○ 定例のブックリスト以外に、各館で展示や行事と組み合わせたブックリストの作成と活用を行っていく。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 乳幼児向けに「えほんがすき」、小学生に「読んでみましょう」「よんでみましょう2022」、中学生に「yomitan」、新中学生向けの「ぶんきょう来ぶらり～」と、発達段階にあったブックリストを作成し、配付した。 ○ ホームページにすべてのブックリストを掲載している。 ○ 調べ学習用の本のリストを作成した。（小石川） ○ 館広報の中でおすすめ本の紹介をした。（真砂中央、目白台、根津） ○ 「よんでみましょう2022」展示の際に過去の年間ブックリストの本も併せて紹介した。（湯島） ○ 絵本作家のイベントで紹介された本のリストを作成し、紹介した。（根津）		
成果と課題	○ ブックリストの配付に合わせ、館内に特集コーナーを設けたことにより、図書の貸出につながった。また、調べ学習用のリストを作成し、これを使用して館内で図書館員が学習支援を行った。 ○ 年間のおすすめブックリストの作成においては、候補本を推薦する段階で分野別に選定する方法を取ったことにより、様々な分野の本をバランスよく選定できるようになった。		
今後の取組	○ 引き続き、ブックリストの作成にあたっては、利用者の読書のきっかけとなるよう幅広い分野の本をバランスよく選定するとともに、館内でのリストを活用した特集展示を継続して行う。 ○ 定例のブックリスト以外に、各館で展示や行事と組み合わせたブックリストの作成と活用を行っていく。		

7

事業名	YA（ヤングアダルト）を対象としたサービスの充実	所管課	真砂中央図書館
内 容	図書館ホームページの「10代のためのYAページ」の充実とともに、YAコーナーや専用席を設け、資料収集や展示を工夫して読書環境を整え、YA世代の利用促進を図る。		
現 況	YA世代（13～18歳）の貸出数 82,741冊（令和元年度）		
目 標	SNSを活用したPRや魅力的で使いやすいYAコーナーの展開を通して、YA世代の読書への意欲を高める。同世代のお勧め本の展示やサイン等の工夫を行うため、学生ボランティアとの協働を目指す。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ YA世代（13～18歳）の貸出数 65,253冊 ○ 中学生対象のブックリスト「yomitan」を作成し区内中学校に配付し、各図書館でもYAコーナー内にyomitanコーナーを設けている。 ○ 常設の特集のほか、展示特集コーナーを定期的に変更し、図書館ホームページの「10代のためのYAページ」でも紹介している。 ○ 新刊コーナー、ブックリストコーナー、特集展示など、目を引くようなデザインや表示を取り入れる工夫をし、必要に応じて書架の配置の変更を行った。 ○ 館内にYAコーナーの場所を示す案内板を設置した。 ○ 電子書籍サービスについて、YAコーナーにポスターを掲示し、図書館ホームページの「10代のためのYAページ」でもPRをした。 ○ 区内中学校からの依頼に応じて、調べ学習等の資料を団体貸出により提供した。 ○ 中学生が作成した本のPOPを活用し、展示特集を行った。 ○ 中学生の職場体験の受入れをした。（真砂中央、本郷、小石川、本駒込、水道端、千石、湯島） ○ 中学生の図書館見学の受入れをした。（目白台） ○ YA世代対象のイベントを実施した。（真砂中央、小石川、本駒込、水道端、湯島、根津、目白台） ○ YAコーナーに、自由に絵や文章を書けるコミュニケーションノート（真砂中央、本郷）と、希望の資料を無記名投函できる自由意見箱（真砂中央）や、YA専用掲示板（本駒込）を設置している。 ○ 京華女子中学校の生徒が授業で作成した点字付きしおりを館内で配布した（真砂中央） ○ 近隣中学校の図書館だよりを館内掲示した。（小石川） ○ 独協中学校との連携事業で「yomitan2023」の紹介文を見て、読んでみたい本を全学年にアンケートを取り、結果発表まで行った。（目白台）		
成果と課題	○ 来館したYA世代が、YAコーナーに立ち寄るようになった。 ○ 中学生の図書館見学の受入れ後、中学生の来館があったため、YA世代の図書館利用を促進するためにはきっかけづくりが必要である。 ○ YA世代対象のイベントは集客が難しいため、学校にポスターを配布する等、引き続き工夫が必要である。 ○ 閲覧席の利用は見受けられるが、貸出やイベントの参加には結びつかない。 ○ YA世代に近い大学生のボランティアの登録が増えた。		
今後の取組	○ YA世代向けの資料を充実させる。 ○ 今後も近隣学校との連携し、図書館サービスの周知のほか、YA世代の声を直接聞けるような機会を設ける。 ○ 職場体験を受け入れた際に中学生の話を参考にし、YA世代にとって興味のある展示やイベントを行う。 ○ 学校図書館支援員と協力して、YA世代への読書案内や展示を工夫する。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ YA世代（13～18歳）の貸出数 83,257冊 ○ 中学生対象のブックリスト「yomitan」を作成し区内中学校に配付し、各図書館でもYAコーナー内にyomitanコーナーを設けている。 ○ 常設の特集のほか、展示特集コーナーを定期的に変更し、図書館ホームページの「10代のためのYAページ」でも紹介している。 ○ 新刊コーナー、ブックリストコーナー、特集展示など、目を引くようなデザインや表示を取り入れる工夫をした。 ○ 電子書籍サービスについて、YAコーナーにポスターを掲示し、図書館ホームページの「10代のためのYAページ」でもPRをした。 ○ 区内中学校からの依頼に応じて、調べ学習等の資料を団体貸出により提供した。 ○ 中学生が作成した本のPOPを活用し、展示特集を行った。 ○ 中学生の職場体験の受入れをした。（真砂中央、本郷、小石川、本駒込、水道端、目白台、千石、湯島） ○ YA世代対象のイベントを実施した。（真砂中央、水道端） ○ YAコーナーに、自由に絵や文章を書けるコミュニケーションノート（真砂中央、本郷）と、希望の資料を無記名投函できる自由意見箱（真砂中央）や、YA専用掲示板（本駒込）を設置している。 ○ 文京区青少年プラザ（b-ラボ）と中高生対象の連携行事を行った。（真砂中央、目白台） ○ 文京アカデミーの中高生対象講座「ハイスクール・アカデミア」にZOOM出演し、図書館の仕事について紹介をした。（真砂中央） ○ 京華女子中学校の生徒が授業で作成した点字付きしおりを館内で配布した（真砂中央、千石） ○ 近隣中学校の図書館だよりを館内掲示している。（小石川） ○ 独協中学校との連携事業で、おすすめブックリスト「yomitan2022」の紹介文を見て、読んでみたい本を全学年にアンケートを取り結果発表まで行ったことで、中学生の来館があった。（目白台）		

	成果と課題	○ 近隣学校と連携を図り、図書館サービスの周知を図った。 ○ ブックリストの作成により貸出に繋がったが、依然として年代別貸出数の中ではYA世代が突出して低い。 ○ YA世代に近い大学生の登録ボランティアと、YAの課題と今後の活動について会合を持ち、課題を共有することが出来た。なお、今後の活動については引き続き検討する必要がある。 ○ YA限定のイベントを行っている館は一部であるため、来館のきっかけづくりとなるようなイベントを全館で行う必要がある。
	今後の取組	○ 引き続きYA世代の利用促進を図るため、職場体験・YAイベント等で交流した中高生の意見のほかSNSなど多方面から情報を得て、YA世代の興味関心の動向を探り、YA世代のニーズを反映した読書環境を整える。また、選書や行事なども魅力ある内容となるよう努める。 ○ 今後も近隣学校との連携を広げ、図書館サービスを周知する。 ○ YA世代に近い大学生の登録ボランティアと、今後の活動について具体的に検討する。

目標2

家庭・地域・学校・関係機関における子どもの読書環境の整備と読書活動の充実

子どもが多く時間を過ごす学校や図書館等における、読書環境の整備と読書活動の更なる充実を図るため、各施設で計画的な環境整備に取り組めます。また、読書バリアフリー法への対応等、支援を必要とする子どもたちに対し、資料の充実などを進めるとともに、学校図書館については、図書館との連携を図りつつ、「読書センター」「学習・情報センター」としての機能の向上を図ります。

8	事業名	図書館と学校や施設との連携・支援体制の充実	所管課	真砂中央図書館・児童青少年課 幼稚園・小・中学校 保育園・児童館
	内 容	区内の子どもと関わりのある各施設と連携して、ブックリストの配付、団体貸出、出張おはなし会、リサイクル図書の提供や情報交換等を行い読書活動を支援する。		
	現 況	各施設が団体貸出や行事等で図書館を利用している。		
	目 標	内容の充実を図ることで施設や学校図書館との連携を強化し、新規連携先が増加するように団体貸出等の周知を図る。		
	● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
	実 績	【真砂中央図書館】 ○ 区内の幼稚園・保育園・認証保育所の新入園児にブックリストと図書館利用案内を配付した。 ○ 区内各施設に団体サービスの案内を配付した。 ○ 中学新入生に図書館案内「ぶんきょう来ぶらりー」を作成し、配付した。 ○ 区立中学生にブックリスト「yomitan」を作成し、配付した。 ○ 小学生にブックリスト「よんでみましょう2023」を作成し、配付した。 ○ 小学生の図書館見学を実施した。（真砂、本郷、小石川、本駒込、水道端、目白台、千石、根津） ○ 幼稚園・保育園・小中学校・児童館等に団体貸出や出張おはなし会などを実施した。 ○ 幼稚園・保育園・小中学校・児童館等に、リサイクル図書を提供した。 ○ 小学校図書担当教諭との連絡会を開催し、情報交換を行った。 【幼稚園】 ○ 図書館からの出張おはなし会 8園 ○ 図書館行事への参加 2園 ○ 団体貸出の利用 11園 ○ 図書館のパンフレット・チラシ等の掲出・配布 10園 【保育園】 ○ 図書館からの出張おはなし会 5園 ○ 団体貸し出しの利用 11園 ○ 図書館のパンフレット・チラシ等の掲出・配布 15園 【児童館】 ○ 団体貸出の利用 12館 ○ 図書館職員による本の紹介や読み聞かせ 4館 【小学校】 ○ 団体貸出の利用 20校 ○ 図書館見学 15校 ○ 図書館からのおはなし会やブックトークの実施 6校 ○ 図書館のパンフレット・チラシ等の掲出・配布 20校 【中学校】 ○ 団体貸出の利用 5校 ○ 職場体験 9校 ○ 図書館のパンフレット・チラシ等の掲出・配布 10校		

	成果と課題	【真砂中央図書館】 ○ 団体登録数の増減はなかったが、団体貸出により、各施設内での読書活動を支援することができた。 ○ 幼稚園・保育園の団体貸出が増えたことにより、幼児向け絵本の需要が高まった。 ○ コロナ禍も落ち着き、来館や出張でのおはなし会の回数が増加した。また、図書館見学は休館日に実施するなど工夫した。 ○ 新規児童団体登録数:16団体 ○ 団体貸出数 幼稚園・保育園・児童館等:35,459冊、小学校:38,093冊、中学校・高等学校等:2,491冊 ※各団体ともR4年度より貸出数は増加している。 【幼稚園】 ○ 出張おはなし会や団体貸出の利用が増え、図書館の毎月の配布物の掲示、図書館訪問なども実施されており、図書館を利用した読書活動ができた。 【保育園】 ○ 図書館の団体貸出を利用して絵本に触れる機会を充実させた。また、図書館員によるおはなし会も再開し、保護者向けの図書館案内や行事予定を配布・掲示による啓発も引き続き行った。 【児童館】 ○ 団体貸出は7割以上の児童館で実施した。 ○ 出張おはなし会の実施館数を増やす。 【小学校】 ○ 図書館見学、図書館からの団体貸出の利用や印刷物の配布、情報交換等による連携を取ることができた。 【中学校】 ○ 図書館からの団体貸出や印刷物の配布のほか、職場体験を実施できるようになり、そこでの体験を学校図書館にも生かすことができた。一方で、ブックトークなどの利用はしていない。
	今後の取組	【真砂中央図書館】 ○ 引き続き、希望に沿った内容の団体貸出を迅速に行うとともに、満足度の高い行事を実施する。また、区内施設へ偏りなく読書支援を行うため、新規登録施設や利用の少ない施設に対して行事のお知らせや案内を積極的に行っていく。 【幼稚園】 ○ 引き続き、これまでのような図書館の活用を継続する。 【保育園】 ○ 出張おはなし会や図書館訪問なども積極的に活用し、引き続き、図書館を活用した読書活動を行っていく。 【児童館】 ○ 引き続き図書館からの団体貸出を利用するなど、図書館や学校との連携を強化し、内容の充実を図る。 【小学校】 ○ 引き続き、団体貸出、ブックトーク、図書館見学等の連携を深めていく。 【中学校】 ○ 引き続き、図書館の案内を掲示し、団体貸出の利用を行っていく。また、職場体験も実施していく。

● 進捗状況（令和4年度の取組等）	
実績	【真砂中央図書館】 ○ 区内の幼稚園・保育園・認証保育所の新入園児にブックリストと図書館利用案内を配付した。 ○ 区内各施設に団体サービスの案内を配付した。 ○ 中学新入生に図書館案内「ぶんきょう来ぶらりー」を作成し、配付した。 ○ 区立中学生にブックリスト「yomitan」を作成し、配付した。 ○ 小学生にブックリスト「よんでみましょう2022」を作成し、配付した。 ○ 小学生の図書館見学を実施した。（真砂、本郷、小石川、水道端、目白台、千石、根津、大塚） ○ 幼稚園・保育園・小中学校・児童館等に団体貸出や出張おはなし会などを実施した。 ○ 幼稚園・保育園・小中学校・児童館等に、リサイクル図書を提供した。 ○ 小学校図書担当教諭との連絡会を開催し、情報交換を行った。 【幼稚園】 ○ 図書館からの出張おはなし会 5園 ○ 図書館行事への参加 3園 ○ 団体貸出の利用 7園 ○ 図書館のパンフレット・チラシ等の掲出・配布 9園 【保育園】 ○ 図書館からの出張おはなし会 3園 ○ 団体貸し出しの利用 12園 ○ 図書館のパンフレット・チラシ等の掲出・配布 16園 【児童館】 ○ 団体貸出の利用 12館/16館 ○ 図書館職員による本の紹介や読み聞かせ 3館/16館 【小学校】 ○ 団体貸出の利用 19校 ○ 図書館見学 13校 ○ 図書館からのおはなし会やブックトークの実施 2校 ○ 図書館のパンフレット・チラシ等の掲出・配布 19校 【中学校】 ○ 団体貸出の利用 5校 ○ 職場体験 9校 ○ 図書館のパンフレット・チラシ等の掲出・配布 10校
成果と課題	【真砂中央図書館】 ○ 区内各施設へ団体サービス案内を行ったことにより図書館サービスが認知され、新規の団体登録や行事の問合せが増えた。また、団体貸出により、各施設内での読書活動を支援することができた。 ○ 幼稚園・保育園の団体貸出が増えたことにより、幼児向け絵本の需要が高まった。 ○ 来館や出張でのおはなし会は感染症対策を講じながら行い、図書館見学は感染状況を見ながら休館日に少人数での来館とするなど、工夫して実施した。一方、出張おはなし会などの利用を控える施設はまだ多くあった。 ○ 新規児童団体登録数:15団体 ○ 利用団体数:延べ151団体 団体貸出数 幼稚園・保育園・児童館等:34,929冊、小学校:37,282冊、中学校・高等学校等:1,630冊 ※各団体ともR3年度より貸出数は増加している。 【幼稚園】 ○ 感染症対策の影響による制限が一部あったが、図書館の毎月の配布物の掲示、団体貸出の利用、出張おはなし会や図書館訪問など、図書館を利用した読書活動ができています。 【保育園】 ○ 図書館の団体貸出を利用して絵本コーナーの充実を図り、保護者向けの図書館案内や行事予定を配布・掲示し啓発を行った。まだ感染症対策の影響が一部あり、図書館利用が難しく、図書館員によるおはなし会や図書館訪問を見合わせることも多かった。 【児童館】 ○ 団体貸出は7割以上の児童館で実施した。 ○ 出張おはなし会の実施館数を増やす。 【小学校】 ○ 感染症対策の影響が一部あり、図書館見学を実施しない学校もあったが、図書館からの団体貸出や印刷物の配布等による連携をとることができた。 【中学校】 ○ 図書館からの団体貸出や印刷物の配布のほか、職場体験を実施できるようになり、そこでの体験を学校図書館にも生かすことができた。一方で、ブックトークなどの利用はしていない。
今後の取組	【真砂中央図書館】 ○ 引き続き、希望に沿った内容の団体貸出を迅速に行うとともに、満足度の高い行事を実施する。また、区内施設へ偏りなく読書支援を行うため、新規登録施設や利用の少ない施設に対して行事のお知らせや案内を積極的に行っていく。 【幼稚園】 ○ 引き続き、これまでのような図書館の活用を継続する。 【保育園】 ○ 出張おはなし会や図書館訪問なども積極的に活用し、引き続き、図書館を活用した読書活動を行っていく。 【児童館】 ○ 引き続き図書館からの団体貸出を利用するなど、図書館や学校との連携を強化し、内容の充実を図る。 【小学校】 ○ 引き続き、団体貸出、ブックトーク、図書館見学等の連携を深めていく。 【中学校】 ○ 引き続き、図書館の案内を掲示し、団体貸出の利用を行っていく。また、職場体験も実施していく。

9

事業名	幼稚園・保育園・児童館等の図書と設備の充実	所管課	幼稚園・保育園・児童館
内 容	発達段階に合わせ、子どもが興味や関心を持った本、子どもに薦めたい本を充実させる。子どもが自由に本を選べるよう親しみやすい環境を整備する。		
現 況	絵本を中心に所蔵し、季節や行事に合わせた展示コーナーを設けている。		
目 標	団体貸出等を用いて公共図書館と連携を図り、図書の充実と環境の整備をすすめる。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	【幼稚園】 ○ 絵本、図鑑、紙芝居等の購入 9園 ○ 絵本リストの作成 4園 ○ 絵本コーナーの図書整理と定期的な入れ替え 全園 【保育園】 ○ 絵本、図鑑、紙芝居等の購入 全園 ○ 絵本リストの作成 4園 ○ 絵本コーナーの図書整理と定期的な入れ替え 全園 【児童館】 ○ 全館(柳町児童館を除く)で図書を1,582冊購入 ○ 絵本の外、紙芝居、図鑑、コミックの購入もある。		
成果と課題	【幼稚園】 ○ 幼児の興味、関心や季節に応じた絵本の入替をした。新しい絵本や図鑑の購入をし、充実に努め、劣化した絵本等の購入にも努めた。 ○ 図書館の団体貸出も利用し、多様な本に触れる機会をもった。 【保育園】 ○ 年齢に合った絵本を計画的に購入している。 ○ 季節ごとに絵本コーナーの入れ替えを行っている。 【児童館】 ○ 図書室(図書コーナー)に絵本や図鑑、コミック等をそろえており、7割以上の児童館で図書の貸出しを行っている。 ○ 子どもの成長段階に合わせた本や子どもが興味・関心を持つ本をさらに所蔵する。		
今後の取組	【幼稚園】 ○ 利用の多い絵本よく読まれている絵本は摩耗するので、適宜、補修や購入をしてよい状態を保つようにする。 ○ 今後も、幼児の発達や興味に応じた絵本などを購入したり、団体貸出を活用したりして、様々な絵本に親しめるようにしていく。 【保育園】 ○ 今後も子どもの発達に合った絵本を計画的に購入し、絵本環境を整えていく。 ○ 保育者が把握しやすいリストを作成し、購入や図書館の貸し出しのリクエストに活用できるようにしたい。 【児童館】 ○ 子どもたちの興味関心が高い図書を購入し、図書の入替えを行うなど、引き続き、図書の充実と環境の整備を図る。		

● 進捗状況（令和4年度の取組等）	
実績	【幼稚園】 ○ 絵本、図鑑、紙芝居等の購入 全園 ○ 絵本リストの作成 4園 ○ 絵本コーナーの図書整理と定期的な入れ替え 全園 【保育園】 ○ 絵本、図鑑、紙芝居等の購入 全園 ○ 絵本リストの作成 3園 ○ 絵本コーナーの図書整理と定期的な入れ替え 全園 【児童館】 ○ 全館で図書を1,638冊購入 ○ 絵本の外、紙芝居、図鑑、コミックの購入もある。
成果と課題	【幼稚園】 ○ 幼児の興味に合わせた絵本の入替えと購入や、図書館の団体貸出を活用し、定期的な絵本コーナーの整備を実施したことで、子どもが本に親しみやすい環境を整えた。人気絵本の劣化に伴う買い替えや、細かな仕分けと環境整備の工夫が必要である。 【保育園】 ○ クラスごとに年齢や興味に合った絵本の提供を実施し、季節や行事に応じた入れ替えを行っている。絵本リストの整備や、十分に行えていない園については年齢・季節に合わせた絵本の意識的な整理が必要である。 【児童館】 ○ 図書室(図書コーナー)に絵本や図鑑、コミック等をそろえている。児童館によっては、図書の貸出しを行っている。 ○ 子どもの成長段階に合わせた本や子どもが興味・関心を持つ本をさらに所蔵する
今後の取組	【幼稚園】 ○ 引き続き、古い絵本の入替え、幼児の発達に合わせた本の購入、絵本の整理・修理と、幼児に適したディスプレイ方法の工夫をしていく。また、図書館連携による充実を図る。 【保育園】 ○ 引き続き、季節や子どもたちの興味に合わせた絵本の購入と入れ替えを継続し、絵本コーナーの整理やリスト作成を進め、充実した絵本環境を目指す。 【児童館】 ○ 利用者の声を聴いて興味関心の高い図書を購入するなど、引き続き、図書の充実と環境の整備を図る。

10	事業名	乳幼児とその保護者が図書館を利用しやすい環境作り	所管課	真砂中央図書館
	内 容	乳幼児向け絵本や育児に関する図書を充実させ、親子で楽しく安心して利用できる環境を整備する。		
	現 況	0歳～6歳児の貸出数 214,112冊（令和元年度）		
	目 標	子どもたちの興味や関心に応えるため慎重に資料を選定し、必要に応じて複本を揃え、提供する。 気兼ねなく図書館を利用できるよう乳幼児の保護者に周知するとともに、一般の利用者への啓発を行う。 図書館の改修等を実施する際には、児童コーナーの整備の検討を行う。		
	● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
	実 績	○ 0歳～6歳児の貸出数 259,257冊（令和5年度） ○ 乳幼児向け福袋（1袋に複数冊セット）の利用 3,418人（水道端を除く全館）		
	成果と課題	○ 福袋は保護者が短い時間で良書を選ぶ手助けになったうえ、子どもたちも福袋を選ぶ楽しさを味わえたように見受けられた。 ○ 案内板を設置することで、声を出すことに気兼ねせず、読み聞かせを楽しんでもらえるようにした。利用者からの「読み聞かせをしている人がいる」という苦言も少なくなった。 ○ 紙芝居の購入数を増やすなど充実を図り、親子で利用できる寝ころび台で、より楽しんでもらえるようにした。 ○ 「はじめのいっぽ」参加後に行った子育てほっとタイムでは、うちとけた雰囲気ですぐに育児コンシェルジュに普段の育児の悩みを気軽にたずねていた。絵本を気軽に手にとってもらいながら、親同士の交流の場となっていた。 ○ 布絵本を1階ねころび台に置いて、実際に手に取り遊んでもらえるようにした。 ○ 行事の満足度を上げるクオリティとベビーカーで来館しても困らない環境づくりが課題。 ○ 子育て応援メールマガジンで図書館の案内を配信した。 ○ スペースの関係から書架の高い棚にまで絵本が配架されている館では、安全面からも子どもの手に届く高さの配列に変更することが課題である。		
	今後の取組	○ 厚紙絵本など、壊れにくい本の購入を継続する。 ○ 引き続き、乳幼児親子の図書館利用に対する不安を取り除く取り組みとして、安心して来館してもらうためのPRを館内掲示やメールマガジン等で行うとともに、一般利用者への啓発を行う。		
	● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
	実 績	○ 0歳～6歳児の貸出数 260,232冊（令和4年度） ○ 乳幼児向け福袋（1袋に複数冊セット）の利用 2,178人（真砂中央、本郷、本駒込、湯島、根津、大塚）		
成果と課題	○ 新型コロナウイルス感染症対策として開始した福袋は、本選びの一助として定着している。 ○ 乳幼児向けの絵本について、引き続き子どもたちの興味や関心に応える本を慎重に選定する必要がある。 ○ 全館で紙芝居舞台を常設し、紙芝居の購入数を増やすなど充実を図り、親子で利用できる寝ころび台で、より楽しんでもらえるようにした。 ○ 乳幼児親子の図書館利用に対する不安を取り除く取り組みとして、来館した保護者には積極的な声掛けを行うとともに、館内掲示等による周囲への理解を求めた。 ○ 依然として、乳幼児の保護者では、図書館では静かにしなければならない、本を汚したり破いたりするかもしれない、といった不安や利用を躊躇するような意見があるため、不安を払拭するPR等が必要である。			
今後の取組	○ 引き続き、乳幼児親子の図書館利用に対する不安を取り除く取り組みとして、安心して来館してもらうためのPRを館内掲示やメールマガジン等で行うとともに、一般利用者への啓発を行う。			

11

事業名	特別な支援を必要とする子どものためのサービス及び資料の充実	所管課	真砂中央図書館
内 容	読書バリアフリー法を踏まえ、誰もが読書を楽しむことができるよう図書館サービスの拡充と資料の充実を図る。		
現 況	デージーや点字図書、布の絵本等を製作している。		
目 標	読書バリアフリー法に対応し、デージー、点字図書、大活字本、布の絵本に加え、電子書籍、オーディオブック、LLブック等、多様な資料を収集し提供する。 対面朗読や読み聞かせ、行事などに取り組む。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ LLブックや点字絵本を購入した。（購入数 LLブック：7冊、点字絵本：4冊） ○ 布の絵本の写真付き目録を館内で閲覧できるようにしている。 ○ 布の絵本を新たに購入した。 ○ 館内行事では、特別な支援を必要とする子どもに対し、座る場所や音量などを配慮して実施した。 ○ YA向けデージー音訳図書を作成した。 ○ 職場体験では、特別支援学級の生徒の受入も行った。 ○ 教育センターふれあい教室へ隔月の団体貸出を行った。（真砂中央） ○ 特別支援学校からの依頼を受け、図書館見学を行った。（真砂中央） ○ りんごの棚を作り、点字絵本や布の絵本、LLブックを集めて手に取りやすくした。（小石川） ○ 講座「点字の世界を知ろう」を実施した。（目白台）		
成果と課題	○ 利用者それぞれが使いやすい資料形態を選べるよう、デージーや点字図書、布の絵本など、多様な資料を用意した。また、図書館利用や行事参加に不安を抱く方からは話を聞き、それぞれの方に合った支援をした。 ○ 行事の際に布の絵本の実物を紹介することで、行事に参加した子どもへの周知になった。 ○ 特別支援学校・小中学校の特別支援学級への団体貸出が前年より増加した。（第一中学校） ○ 布の絵本を購入した。 ○ りんごの棚は、障害の有無にかかわらず、多くの人が興味を持つきっかけとなった。 ○ 講座は、視覚障害者の使用している道具を知ったり、点字の仕組みや歴史を知るきっかけになった。		
今後の取組	○ 引き続き、誰もが読書を楽しめる環境を維持できるよう、特別な支援を必要とする子どもや保護者、学校と情報交換をする。 ○ 特別支援学校・学級への団体貸出についての情報提供を行い、図書館資料の活用を促す。 ○ 特別な支援を必要とする子どもたちへの理解を深めるための研修等により職員等の資質向上を図るとともに、読書バリアフリー法に対応したサービスの充実に努める。 ○ 支援の必要な子どもたちも楽しめるような行事を企画し、また、資料を紹介することで図書館の利用拡大に努める。 ○ りんごの棚をきっかけに、バリアフリーに興味をもってもらえるように本棚の充実に努める。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ LLブックや点字絵本を購入した。（購入数 LLブック：7冊、点字絵本：3冊） ○ 布の絵本の写真付き目録を館内で閲覧できるようにしている。 ○ 館内行事では、特別な支援を必要とする子どもに対し、座る場所や音量などを配慮して実施した。 ○ デージー音訳図書と点字図書は、YA向けにも作成した。 ○ 職場体験では、特別支援学級の生徒の受入も行った。 ○ 教育センターふれあい教室へ隔月の団体貸出を行った。（真砂中央） ○ 特別支援学校からの依頼を受け、図書館見学を行った。（真砂中央） ○ LLブックを紹介するためのパネル展示を行った。（小石川） ○ 布の絵本について小学校教諭との打ち合わせの際に紹介したり、行事の際に参加した子どもと保護者に実際に触ってもらう事を行った。（根津）		
成果と課題	○ 利用者それぞれが使いやすい資料形態を選べるよう、デージーや点字図書、布の絵本など、多様な資料を用意した。また、図書館利用や行事参加に不安を抱く方からは話を聞き、それぞれの方に合った支援をした。 ○ 行事の際に布の絵本の実物を紹介することで、行事に参加した子どもへの周知になった。 ○ 特別支援学校・小中学校の特別支援学級への団体貸出が前年より増加した。（礪川小・林町小・汐見小・駒本小・都立文京盲学校） ○ 布のえほんの作り手は、現在はボランティア1団体のみであるため、新たな作り手の確保や育成に向け、具体的な方策を検討する必要がある。		
今後の取組	○ 引き続き、誰もが読書を楽しめる環境を維持できるよう、特別な支援を必要とする子どもや保護者、学校と情報交換をする。 ○ 特別支援学校・学級への団体貸出についての情報提供を行い、図書館資料の活用を促す。 ○ 特別な支援を必要とする子どもたちへの理解を深めるための研修等により職員等の資質向上を図るとともに、読書バリアフリー法に対応したサービスの充実に努める。 ○ 支援の必要な子どもたちも楽しめるような行事を企画し、また、資料を紹介することで図書館の利用拡大に努める。		

12	事業名	特別支援学級等配慮が必要な児童・生徒の読書活動の推進	所管課	教育指導課 小・中学校
	内 容	支援が必要な子ども一人ひとりに配慮した読書活動の工夫に努める。		
	現 況	児童生徒の障害特性を考慮した図書を選定し、読み聞かせやパネルシアター等読書の意欲の向上を図る工夫を行っている。		
	目 標	学校図書室と連携を図りながら、児童・生徒の障害の特性等を考慮しつつより充実を図る。 電子書籍やLLブック等アクセシブルな資料の収集を進める。		
	● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
	実 績	【教育指導課】 ○ 児童生徒の発達に応じた図書の選定、及び読み聞かせ等の実施により、読書意欲の向上を図っている。 【小学校】 ○ 児童の特性・生活経験、興味に応じた図書を選定し、読み聞かせや読書を進める。19校 ○ 特別支援学級の児童に配慮した本の整備 12校 ○ 支援学級と通常学級の児童合同で読書活動をした。9校 ○ 支援学級単独で図書館オリエンテーション 6校 ○ アクセシブルな資料の収集 7校 【中学校】 ○ 特別支援学級の生徒に配慮した本の整備 6校 ○ 支援学級と通常学級の生徒が合同で読書活動をした。3校 ○ 支援学級単独で図書館オリエンテーション 2校 ○ アクセシブルな資料の収集 3校		
	成果と課題	【教育指導課】 ○ 読み聞かせやパネルシアター等の活用により、一人で読書に取り組むことが難しい児童への支援となっている。 【小学校】 ○ 特別支援学級の有無に関わらず、配慮が必要な児童や児童の実態に応じた選本や読み聞かせの実施で、本に親しむことができる工夫を行い、読書への意欲を高めている。一方で、アクセシブルな資料の収集が十分に行えていないことが課題である。 ○ 日本語を読めない児童に向けた図書の拡充が必要である。 【中学校】 ○ 支援学級単独でのオリエンテーションを行うことができ、支援学級と通常学級の交流及び共同学習を進めることもできた。アクセシブルな資料の収集については十分ではない学校もあった。 ○ リーディングトラッカーを常備した。 ○ 日本語を母国語としない生徒のために洋書（英語で読める小説）を購入した。 ○ 図書委員生徒と教員で興味関心に応じた本を選び、支援学級内に置くことができている。 ○ 支援学級にある学級文庫の本を定期的を選書し、入れ替えを行うことが課題。		
	今後の取組	【教育指導課】 ○ 児童生徒の発達段階に応じた蔵書、図書の選定について検討し、学校内でも情報共有していく。 【小学校】 ○ 児童の実態や特性を把握するために、特別支援学級の担当と連携を図り、考慮した様々な図書を充実させていくとともに、取り組みが見られないところは、個に応じた図書指導や学校図書館の活用、学習に取り入れかたなどを検討していく。児童の実態に応じた本の配置をして支援が必要な子どもの読書の向上を図る。 ○ 外国籍の児童が読める言語の本や、日本語の学習に適した本、簡単な日本語で書かれた本などをそろえる。 【中学校】 ○ 引き続き、支援学級単独でのオリエンテーションの実施や支援学級の生徒に配慮したアクセシブルな資料の収集を進め、また、特性がある生徒の読書に集中できるような環境整備を行う。 ○ 多言語での読み聞かせなどの実践を検討する。		
	● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
	実 績	【教育指導課】 ○ 児童生徒の発達に応じた図書の選定及び読み聞かせ等の実施により、読書意欲の向上を図っている。 【小学校】 ○ 児童の特性・生活経験、興味に応じた図書を選定し、読み聞かせや読書を進める。17校 ○ 特別支援学級の児童に配慮した本の整備 10校 ○ 支援学級と通常学級の児童合同で読書活動をした。7校 ○ 支援学級単独で図書館オリエンテーション 5校 ○ アクセシブルな資料の収集 4校 【中学校】 ○ 特別支援学級の生徒に配慮した本の整備 5校 ○ 支援学級と通常学級の生徒が合同で読書活動をした。3校 ○ 支援学級単独で図書館オリエンテーション 4校 ○ アクセシブルな資料の収集 1校		

	成果と課題	【教育指導課】 ○ 読み聞かせやパネルシアター等の活用により、一人で読書に取り組むことが難しい児童への支援となっている。 【小学校】 ○ 特別支援学級の有無に関わらず、配慮が必要な児童や児童の実態に応じた選本や読み聞かせの実施で、本に親しむことができる工夫を行い、読書への意欲を高めている。一方で、アクセシブルな資料の収集が十分に行えていないことが課題である。 【中学校】 ○ 支援学級単独でのオリエンテーションを行うことができ、支援学級と通常学級の交流及び共同学習を進めることもできた。アクセシブルな資料の収集については十分ではない学校もあった。
	今後の取組	【教育指導課】 ○ 児童生徒の発達段階に応じた蔵書、図書の選定について学校内でも情報共有し検討していく。 【小学校】 ○ 児童の実態や特性を把握するために、特別支援学級の担当と連携を図り、考慮した様々な図書を充実させていくとともに、取り組みが見られないところは、個に応じた図書指導や学校図書館の活用、学習に取り入れかたなどを検討していく。児童の実態に応じた本の配置をして支援が必要な子どもの読書の向上を図る。 【中学校】 ○ 引き続き、支援学級単独でのオリエンテーションの実施や支援学級の生徒に配慮したアクセシブルな資料の収集を進め、また、特性がある生徒の読書に集中できるような環境整備を行う。

13

事業名	外国語図書の整備・充実	所管課	真砂中央図書館
内 容	外国語図書を幅広く収集整理し、外国語を母語とする子どもや帰国児童・生徒など、必要とする子どもの読書活動を支援する。		
現 況	水道端図書館を中心に各館で外国語の絵本を所蔵している。		
目 標	英語以外の外国語図書の充実を図り、文化、生活がわかる本や児童文学等、広く収集する。行事等の取組みの充実を図る。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 外国語絵本の購入数(約110冊) ○ 定番の絵本を中心に、買い替えを行った。 ○ 定期的に外国語絵本の特集をYA、児童向けに行っている。また、学校への団体貸出でも外国語絵本を活用した。 ○ 新たに外国語絵本コーナーを設置した。(大塚) ○ 外国語図書を使った行事を取り入れ、外国語図書を使った演目のある行事を実施した。(真砂中央、本駒込、千石)		
成果と課題	○ 小学校では外国籍の生徒が増えているが、英語以外の外国語図書資料数が少ないため、様々な言語の図書資料の収集が課題である。		
今後の取組	○ 図書館における外国語の行事のあり方や周知方法について検討をしていく。 ○ 学校図書館支援員と連携し、学級文庫に外国語絵本を取り入れていく。 ○ 英語以外の言語の図書資料を充実させ、特集や行事等で活用できるよう検討していく。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 外国語絵本資料の購入数(約100冊) ○ 定期的に外国語絵本の特集をYA、児童向けに行っている。また、小学校への団体貸出でも外国語絵本を活用した。 ○ 新たに2館で外国語図書を使った行事を取り入れ、外国語図書を使った演目のある行事を3館で実施した。(真砂、本駒込、千石)		
成果と課題	○ 計画的な購入を検討し、英語を中心に中国語や韓国語など需要のある言語の絵本のほか、区のおすすめ絵本リスト「えほんがすき」掲載絵本のアジア言語版を購入した。 ○ 経年劣化した資料が多く、買い替えも含めて、年計画だけでなく中長期的な視点での購入計画の検討が必要である。 ○ 外国語を母国語とする子どもの登録や利用が少ないため、図書館の取り組みを周知する必要がある。 ○ 外国語を母国語とする子どもたちの行事の参加が少ないことが課題である。		
今後の取組	○ 引き続き、外国語の絵本及び図書の整備については、区の地域性等や世代ごとの需要を踏まえ、中長期的な視点で計画を作成のうえ、購入する。 ○ 図書館における外国語の行事のあり方や周知方法について検討をしていく。		

14

事業名	電子書籍の活用	所管課	真砂中央図書館
内 容	電子書籍の特性を生かし、読書支援及び学習支援を実践する。		
現 況	児童書 141冊（令和3年度4月現在）		
目 標	選定基準に則って資料数を増やし、子どもたちの読書意欲を喚起する。 電子書籍の活用方法について、周知する。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 令和6年3月31日現在の児童電子書籍蔵書数 1,201冊 ○ 児童電子書籍貸出数 9,329件 ○ 何人かが同時に読むことができる読み放題パックを導入した。 ○ 8月1日～8月31日を全館で電子図書館周知強化月間とし、全館統一のポスターを展示するほか周知にQRコード入りのカードを配付し、周知に努めた。 ○ ライセンス切れで所蔵がなくなった資料については、貸出数の多いものは継続利用できるよう再度購入した。 ○ 各館独自の電子書籍の紹介ポスターや、電子書籍のページのQRコード入りのPOPを館内で掲示し、利用促進に努めた。 ○ 子ども会等の行事で、演目と関連する電子書籍を紹介するチラシを配布した。 ○ 小学校の図書館見学や、小学校教諭とのブロック別連絡会等で、電子書籍を紹介した。 ○ 子育て支援課主催の「子育てフェスティバル」に参加の際、展示室でタブレットを持参して電子書籍のデモンストレーションを併せて行い、電子書籍の活用と周知に努めた。		
成果と課題	○ 電子書籍の周知を強化したことにより、貸出数が伸びた。 ○ 予約多数な資料で購入可能な電子書籍を積極的に購入し、利用者に案内したところ貸出につながった。		
今後の取組	○ 小学校の図書館見学で電子書籍の紹介を行い、人数分のリーフレットを配布することで子どもに直接周知する。 ○ 電子書籍としてのニーズがある内容のジャンルを把握し、資料を充実させる。 ○ 子ども会以外の乳幼児向けの行事でも、電子書籍特有の利便性ととともに周知に努め、対象年齢に応じた電子書籍を紹介する。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 令和5年3月31日現在の児童電子書籍蔵書数 1,497冊 ○ 児童電子書籍貸出数 7,584件 ○ ライセンス切れで所蔵がなくなった資料については、貸出数の多いものは継続利用できるよう再度購入した。 ○ 学務課と教育指導課と連携し、区立小学校の児童生徒に配付されたタブレットに図書館ホームページのアイコンを貼った。 ○ 館内に電子書籍のページのQRコード入りのPOPを掲示し、利用促進に努めた。 ○ 小学校の図書館見学や、小学校教諭とのブロック別連絡会等で、電子書籍を紹介した。 ○ 子育て支援課主催の「子育てフェスティバル」に参加の際、展示室でタブレットを持参して電子書籍のデモンストレーションを併せて行い、電子書籍の活用と周知に努めた。		
成果と課題	○ 電子書籍の周知を強化したことにより、貸出数が伸びた ○ 区立小・中学校の児童・生徒に学校支給のタブレットを使って電子書籍を利用させることは、ログインパスワードを管理する家庭の方針等もあり、一様には難しいという課題がある。		
今後の取組	○ 掲示物や配布物での広報、小学校の図書館見学や職場体験などの機会も利用して電子書籍を紹介するなど、引き続き、電子書籍の周知に努め、利用につなげる。また、より充実した電子書籍の選定を行う。		

15

事業名	入院中の子どもへのサービスの充実	所管課	真砂中央図書館
内 容	小児病棟等病院のニーズを汲み取り、病院と連携した図書館サービスを提供する。		
現 況	読み聞かせの実績があるが、感染症対策等病院側の都合により実施できないことがある。		
目 標	病院との連携を図り、団体貸出等を通して、入院中の子どもたちに読書の機会を提供する。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 大学病院等の小児病棟を中心に図書館サービスを周知するため、入院病床のある医療機関向けに児童図書サービスリーフレットを作成し、配付した。（5施設）		
成果と課題	○ 区内の小児病棟のある病院に入院中の子どもへのサービスの提供について案内を行い、1施設について令和6年度からの団体貸出の実施に向けて調整した。		
今後の取組	○ 今後とも、大学病院等の小児病棟を中心に図書館サービスを周知するため、入院病床のある医療機関向けに児童図書サービスリーフレットを再度配付し、改めて図書館サービスの需要について調査し、連携につなげていく。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 大学病院等の小児病棟を中心に図書館サービスを周知するため、入院病床のある医療機関向けに児童図書サービスリーフレットを作成し、配付した。（5施設）		
成果と課題	○ 区内の小児病棟のある病院に入院中の子どもへのサービスの提供についての案内をしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、病院側の体制等が整わない等の理由により依然として連携を取ることが難しい状況だった。		
今後の取組	○ 改めて大学病院等の小児病棟を中心に図書館サービスを周知するため、入院病床のある医療機関向けに児童図書サービスリーフレットを再度配付し、改めて図書館サービスの需要について調査し、連携につなげていく。		

16

事業名	学校における読書時間の確保	所管課	教育指導課 小・中学校
内 容	学校活動における読書時間の確保に努める。		
現 況	小中学校で「朝読書」または「学習活動内での読書の時間」が実施されている。		
目 標	日常的に読書の時間を設けることにより、読書習慣を身に付ける。 学級文庫の設置により、本に触れる機会を増やす取組を進める。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	【教育指導課】 ○ 小中学校で読書に取り組む時間を確保している。 【小学校】 ○ 朝読書の実施 16校 ○ 朝読書以外の時間の確保 19校 ○ 図書室の利用を固定枠で確保 17校 ○ 保護者ボランティアによる読み聞かせ 16校 【中学校】 ○ 朝読書の実施 全校 ○ 朝読書以外の時間の確保 5校 ○ 図書室の利用を固定枠で確保 2校		
成果と課題	【教育指導課】 ○ 読書時間確保の定着が見られる。 ○ 年間計画等に位置付けた、意図的・計画的な読書活動の推進。 【小学校】 ○ ほとんどの小学校で朝読書や休み時間を活用した、読書の時間を確保している。ボランティアによる読み聞かせの再開が増え、読書習慣への一助となっている。一部、高学年の読書時間の確保が課題となっている。 ○ 早く活動が終わった時などの隙間時間の読書が高学年には適していると感じた。 ○ 学級増のため図書室と算数室の兼用、図書室の工事、分散化などにより、図書室の利用が困難となった。読書に触れる時間や機会が減っている。 【中学校】 ○ 朝読書の時間を確保することで、読書習慣を身に付けることはもちろん、落ち着いた状況で授業に入ることが出来る。それ以外の休み時間等についても読書が習慣化してる生徒も見られる。図書室の利用を固定枠で確保することは難しい。 ○ 学級文庫に図書委員が選定した本を設置。幅広く多くの本に触れられるように工夫している。		

	今後の取組	【教育指導課】 ○ 引き続き、意図的・計画的な読書活動について推進していく。 【小学校】 ○ 引き続き、読書時間の確保に努め、ボランティアによる読み聞かせを実施する。 ○ 読書時間に教職員自身も取り組むことで、児童の読書への意欲をより高めていく。 ○ 学級文庫の充実、図書室の環境整備と活用を向上させていく。 【中学校】 ○ 引き続き、朝読書について取り組んでいく。朝読書以外の時間の確保ができるようにする。各教科の学習活動で図書を利用できるようにする。 ○ 学級文庫の充実を継続していく。
● 進捗状況（令和4年度の実績等）		
	実績	【教育指導課】 ○ 小中学校で読書に取り組む時間を確保している。 【小学校】 ○ 朝読書の実施 16校 ○ 朝読書以外の時間の確保 18校 ○ 図書室の利用を固定枠で確保 16校 ○ 保護者ボランティアによる読み聞かせ 14校 【中学校】 ○ 朝読書の実施 全校 ○ 朝読書以外の時間の確保 3校 ○ 図書室の利用を固定枠で確保 1校
	成果と課題	【教育指導課】 ○ 読書時間確保の定着が見られる。 ○ 年間計画等に位置付けた、意図的・計画的な読書活動の推進。 【小学校】 ○ ほとんどの小学校で朝読書や休み時間を活用した、読書の時間を確保している。ボランティアによる読み聞かせが復活し、読書習慣への一助となっている。一部、高学年の読書時間の確保が課題となっている。 【中学校】 ○ 朝読書の時間を確保することで、読書習慣を身に付けることはもちろん、落ち着いた状況で授業に入ることが出来ている。それ以外の休み時間等についても読書が習慣化してる生徒も見られる。図書室の利用を固定枠で確保することは難しい。
	今後の取組	【教育指導課】 ○ 引き続き、意図的・計画的な読書活動について推進していく。 【小学校】 ○ 引き続き、読書時間の確保に努め、ボランティアによる読み聞かせを実施する。 【中学校】 ○ 引き続き、朝読書について取り組んでいく。朝読書以外の時間の確保ができるようにする。

17

事業名	読書指導計画の策定	所管課	小・中学校
内 容	毎年度、読書指導の目標を設定し、年度計画に基づく読書活動の推進を行う。		
現 況	読書指導計画(読書活動年間指導計画)等策定 小学校12校、中学校4校(令和元年度)		
目 標	全校で策定されるよう、引続き推進に努める。		
● 進捗状況(令和5年度の取組等)			
実 績	【小学校】 ○ 読書指導計画(読書活動年間指導計画)等の策定 12校 【中学校】 ○ 読書指導計画(読書活動年間指導計画)等の策定 5校		
成果と課題	【小学校】 ○ 年度初めに教職員に周知した、計画をもとに読書活動をすすめることができたなど、半数以上の学校で策定している。 【中学校】 ○ 読書指導計画はないが、国語科や総合・特別活動などで計画的に図書館の本で調査などを行うことができています。一方、計画はあるが教科や学年の授業においてあまり活用されていない学校もある。		
今後の取組	【小学校】 ○ 引き続き、策定の継続、計画を学校全体に周知し活用していく。計画の見直し、策定の検討、準備等を進める。 【中学校】 ○ 引き続き、策定を継続し、教職員への啓発を行い、計画に沿って読書活動を推進していく。未策定の学校については、他校との情報共有を行い、計画作成に向けて取り組む。		
● 進捗状況(令和4年度の取組等)			
実 績	【小学校】 ○ 読書指導計画(読書活動年間指導計画)等の策定 13校 【中学校】 ○ 読書指導計画(読書活動年間指導計画)等の策定 4校		
成果と課題	【小学校】 ○ 教育計画の中に掲載するなど、半数以上の学校で策定している。 【中学校】 ○ 読書指導計画はないが、国語科や総合・特別活動などで計画的に図書館の本で調査などを行うことができています。一方、計画はあるが教科や学年の授業においてあまり活用されていない学校もある。		
今後の取組	【小学校】 ○ 引き続き、策定の継続、計画の見直し、策定の検討、準備等を進める。 【中学校】 ○ 引き続き、策定を継続し、計画に沿って読書活動を推進していくとともに、未策定の学校についても、読書の年間指導計画を作成し、計画的に読書推進を進めていく。		

18

事業名	学校における読書活動の推進	所管課	教育指導課 小・中学校
内 容	読書推進期間の設定や、ブックリストの作成、学校図書館・図書館の利用促進等、多様な読書活動を推進する。		
現 況	各学校で、本の紹介の工夫、推薦図書の選定、読書量の設定、図書館の利用指導等特色のある読書活動を実施している。		
目 標	教職員、学校図書館支援員の協働により、授業や学校図書室にて児童・生徒が読書を楽しめるよう充実を図る。読書バリアフリー法に対応するため、アクセシブルな資料の導入や読書補助具等の整備を行う。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	【教育指導課】 ○ 各校で、読書推進月間の設定やおすすめの本の紹介コーナーの設置など、図書室利用の促進を図っている。 【小学校】 ○ 読書推進期間等の設定 19校 ○ 多読者等の表彰 8校 ○ 目標読書量の設定 6校 ○ おすすめ本の紹介、おすすめコーナー等の設置 全校 ○ ブックリストの作成 14校 ○ 支援員等によるブックトーク、読み聞かせ等 18校 ○ 学校図書館の利用指導 全校 ○ 近隣図書館の利用案内等の掲示や配布 全校 ○ 図書だよりの発行 17校 【中学校】 ○ 読書推進期間等の設定 9校 ○ 多読者等の表彰 4校 ○ 目標読書量の設定 3校 ○ テーマコーナー等の設置 全校 ○ 生徒・教職員による推薦図書の紹介、購入 全校 ○ 支援員等によるブックトーク等 8校 ○ 学校図書館の利用指導 全校 ○ 近隣図書館の利用案内等の掲示や配布 全校 ○ 新着図書紹介 全校 ○ 図書だよりの発行 全校		
成果と課題	【教育指導課】 ○ 学校によって、学級数の増加に伴い、図書室の縮小がある。 【小学校】 ○ 読書週間のイベントなど、それぞれの学校で様々な取り組みを行うことで、児童の読書意欲を高めた。普段、図書室に足を運ばない児童がどうすれば来館するか、読書活動が好きな児童がより本を好きになるための工夫について支援員や教職員で検討しながら取り組んだ。 ○ 高学年になるとなかなか読書がしたくてもできない現状があるため、目標読書量の設定が難しい。 【中学校】 ○ 学校における読書活動の推進については、全ての中学校で様々な形で行うことができている。 ○ 生徒に「読書記録」をつけ、多読賞発表などを行っていたが、活用が徹底できず委員や教職員の負担になることから、活用を停止した。 ○ 読書に対する意識づけや、多様な種類の本に触れるきっかけ作りはできているが、図書館利用には、個人差が大きく来室しない生徒も多くいる。		
今後の取組	【教育指導課】 ○ 引き続き、言語能力や情報活用能力等の育成に向けた、カリキュラム・マネジメントの推進をしていく。 【小学校】 ○ 引き続き、イベント等の工夫をしながら様々な読書活動の推進を図り、高学年の図書室利用離れを課題として考え、図書委員の活用や学校図書館支援員との連携等により、児童が意欲的に読書する取り組みを行う。 【中学校】 ○ 引き続き、新着図書や推薦図書の紹介や展示・掲示等で積極的に情報を発信して、読書活動を推進していく。 ○ 学校図書館支援員の協力のもと、図書委員のアイデア活用など、生徒の意見を取り入れ、より生徒の関心をもちやすい取り組みを広げる。		

● 進捗状況（令和4年度の取組等）	
実績	【教育指導課】 ○ 各校で、読書推進月間の設定やおすすめの本の紹介コーナーの設置など、図書室利用の促進を図っている。 【小学校】 ○ 読書推進期間等の設定 18校 ○ 多読者等の表彰 8校 ○ 目標読書量の設定 9校 ○ おすすめ本の紹介、おすすめコーナー等の設置 全校 ○ ブックリストの作成 16校 ○ 支援員等によるブックトーク、読み聞かせ等 19校 ○ 学校図書館の利用指導 20校 ○ 近隣図書館の利用案内等の掲示や配布 18校 ○ 図書だよりの発行 17校 【中学校】 ○ 読書推進期間等の設定 9校 ○ 多読者等の表彰 4校 ○ 目標読書量の設定 4校 ○ テーマコーナー等の設置 全校 ○ 生徒・教職員による推薦図書の紹介、購入 全校 ○ 支援員等によるブックトーク等 8校 ○ 学校図書館の利用指導 全校 ○ 近隣図書館の利用案内等の掲示や配布 全校 ○ 新着図書紹介 全校 ○ 図書だよりの発行 全校
成果と課題	【教育指導課】 ○ 学校によって、学級数の増加に伴い、図書室の縮小がある。 【小学校】 ○ 読書週間のイベントなど、それぞれの学校で様々な取り組みを行うことで、児童の読書意欲を高めた。多読者等の表彰や目標読書量の設定などを実施していない学校については、読書を進んで行う児童を増やす取り組みの一つとして、検討の必要がある。 【中学校】 ○ 学校における読書活動の推進については、全ての中学校で様々な形で行うことができている。読書に対する意識づけや、多様な種類の本に触れるきっかけ作りはできているが、図書館利用には、個人差が大きい。
今後の取組	【教育指導課】 ○ 引き続き、言語能力や情報活用能力等の育成に向けた、カリキュラム・マネジメントの推進をしていく。 【小学校】 ○ 引き続き、イベント等の工夫をしながら様々な読書活動の推進を図り、多読者等の表彰や目標読書量の設定、図書委員の活用や学校図書館支援員との連携等により、児童が意欲的に読書する工夫や取り組みを行う。 【中学校】 ○ 引き続き、新着図書や推薦図書の紹介や展示・掲示等で積極的に情報を発信して、読書活動を推進していく。○ 学校図書館支援員の協力のもと、図書委員のアイデア活用など、生徒主体の活動を継続しながらも、さらに良い取り組みがあれば積極的に導入していく。

19

事業名	調べ学習への支援	所管課	真砂中央図書館 小・中学校
内 容	学校図書館や図書館の活用を促進し、児童・生徒の調べ学習への支援をする。		
現 況	「文京区調べる学習コンクール」を開催しており、調べ学習のために学校図書館が利用されている。調べ学習用図書を購入し団体貸出をしている。		
目 標	図書館と学校図書館が連携しながら調べ学習用の図書等を充実させる。 学校図書館支援員が積極的な支援を行う。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	【真砂中央図書館】 ○ 小中学校用テーマ別調べ学習用図書購入 計265冊 ○ 「文京区図書館を使った調べる学習コンクール」を開催した。（応募総数2,263点） ○ 「調べる学習コンクール」において、高校生の部の参加が初めてあった。以前、中学生の部での参加者で、コンクールの継続参加がみられた。 ○ 区内中学校からの依頼に応じて、調べ学習等の資料を団体貸出により提供した。 ○ レファレンスによる、児童・生徒の調べ学習を支援した。 ○ 指導要領に対応し、教科書の内容に沿った調べ学習図書を収集し、提供した。 ○ 図書館資料の小・中学校への団体貸出をした。 ○ 夏休みに自由研究・工作や読書感想文に対応する、特集展示やワークシートなどを配付した。 ○ 図書館から派遣している学校図書館支援員が、教員の要望に応じた調べ学習図書の提供を行った。 ○ 「調べる学習コンクール」の出品にあたり、学校図書館支援員が学校図書館において児童・生徒の調べ学習を支援した。 ○ 「調べる学習コンクール」の実施にあたり、調べ学習の講座の開催や、過去の入賞作品レプリカと調べ学習に役立つ資料の展示を行った。 【小学校】 ○ 調べ学習での学校図書館利用 全校 ○ 図書館の団体貸出を利用した調べ学習 19校 【中学校】 ○ 調べ学習での学校図書館利用 9校 ○ 図書館の団体貸出を利用した調べ学習 5校		
成果と課題	【真砂中央図書館】 ○ 調べ学習用図書の購入のために、学校図書館と連携し選定した。 ○ 「文京区図書館を使った調べる学習コンクール」の過去の入選作品の展示や講座の開催、レファレンスによって児童・生徒の調べ学習を支援したことにより、児童・生徒に調べることの楽しさを伝えることができた。一方で、自分で調べ学習のテーマを決めた児童・生徒への支援はできたが、テーマが見つけれられない児童・生徒への提案が難しく、課題である。 【小学校】 ○ 調べ学習を行うときに、学校図書館や図書館から多くの本を借りて、調べ学習の充実を図った。 ○ 全学年に夏休みの宿題として、「文京区図書館を使った調べる学習コンクール」への作品提出を設定することで、多くの児童が課題に取り組むことができた。 【中学校】 ○ タブレットと図書室や図書館からの団体貸出を併用した調べ学習により、生徒の自主的な調べ学習を支援することができた。 ○ 担当教職員や学年によって調べ学習用図書の活用状況に差があることが課題である。		
今後の取組	【真砂中央図書館】 ○ 児童・生徒の調べ学習の環境がより充実するよう、引き続き、学校図書館と図書館が連携した調べ学習用図書の選定や買替を行い、調べ学習用図書の充実を図る。 ○ 団体貸出の利用が少ない中学校があるので、積極的にアピールをし活用を促していく。 ○ 調べ学習のテーマが決まらない児童・生徒に対し、テーマの提案や適切なアドバイスをを行う。児童・生徒が相談しやすいと感じる雰囲気作り、相談してよかったと思ってもらえるレファレンス力を鍛えていく。 ○ 学校の協力のもと、引き続き「文京区調べる学習コンクール」を開催し、多くの児童・生徒の参加を促す。 【小学校】 ○ 引き続き、学校図書館や図書館の団体貸出を活用して調べ学習の支援を充実させていく。調べ学習のブックリストを作成し、単元に応じた貸出を活性化させる。 【中学校】 ○ 「文京区図書館を使った調べる学習コンクール」への参加を視野に入れた、調べ学習の指導を行う。 ○ 学校図書館支援員と連携の上、タブレットでの情報収集だけでなく調べ学習用図書を活用した情報収集の指導も行う。また、調べ学習用図書の活用について、教職員にも周知をする。		

● 進捗状況（令和4年度の取組等）	
実 績	【真砂中央図書館】 ○ 小中学校用テーマ別調べ学習用図書購入 計306冊 ○ 「文京区調べる学習コンクール」を開催した。（応募総数2,467点） ○ 区内中学校からの依頼に応じて、調べ学習等の資料を団体貸出により提供した。 ○ レファレンスによる、児童・生徒の調べ学習を支援した。 ○ 指導要領に対応し、教科書の内容に沿った調べ学習図書を収集し、提供した。 ○ 図書館資料の小・中学校への団体貸出をした。 ○ 夏休みに自由研究・工作や読書感想文に対応する、特集展示やワークシートなどを配付した。 ○ 図書館から派遣している学校図書館支援員が、教員の要望に応じた調べ学習図書の提供を行った。 ○ 調べる学習コンクールの出品にあたり、学校図書館支援員が学校図書館において児童・生徒の調べ学習を支援した。 ○ 調べ学習用資料を充実させるとともに、需要の多い常設のSDGsコーナーを設けるなど、児童・生徒が目的の本を探しやすくなるような配架の工夫をした。（真砂中央） ○ 調べる学習コンクールの実施にあたり、調べ学習の講座の開催や、過去の入賞作品レプリカと調べ学習に役立つ資料の展示を行った。 ○ 館内に調べ学習支援コーナーを常設し、図書館資料を使った調べ方などの情報を提供した。（小石川） ○ 調べ学習用の本のリストを作成した。（小石川） 【小学校】 ○ 調べ学習での学校図書館利用 全校 ○ 図書館の団体貸出を利用した調べ学習 19校 【中学校】 ○ 調べ学習での学校図書館利用 全校 ○ 図書館の団体貸出を利用した調べ学習 3校
成果と課題	【真砂中央図書館】 ○ 学校図書館支援員による授業支援により、調べ学習の充実が図られた。 ○ 「文京区調べる学習コンクール」の過去の入選作品の展示や講座の開催、レファレンスによって児童・生徒の調べ学習を支援したことにより、児童・生徒が調べ学習に意欲的に取り組んだ。一方で、応募校・数ともに減少したため、更なるPRと支援が必要である。 【小学校】 ○ タブレットと併用し、学校図書館や図書館の団体貸出を調べ学習に活用している。また、調べる学習コンクールに向けた事前指導により、事前にテーマを決めた児童達が学校図書館を活用した学校もあった。 【中学校】 ○ タブレットと図書室や図書館からの団体貸出を併用した調べ学習を行っている。図書室の活用からタブレット中心の調べ学習になっている学校もある一方、多くの学校が校外学習の事前学習などで図書館からの団体貸出の活用を行っている。
今後の取組	【真砂中央図書館】 ○ 児童・生徒の調べ学習の環境がより充実するよう、引き続き、学校図書館と図書館が連携し、調べ学習用図書の選定や特集展示を行う。 ○ 団体貸出を利用していない学校に対しては積極的に情報提供を行い、活用を促していく。 ○ ニーズにあった調べ学習用資料を充実させ、児童・生徒が目的の本を探せるように配架の工夫をしていく。 ○ 学校の協力のもと、引き続き「文京区調べる学習コンクール」を開催し、多くの児童・生徒の参加を促す。 ○ 図書館ホームページ内に調べる学習コンクールのページを新規に開設し、コンクールの周知、応募の促進を図る。 【小学校】 ○ 引き続き、タブレットとも併用しながら学校図書館や図書館の団体貸出を利用する。また、タブレットでの情報収集がたやすくなっているが、本による情報収集が少なくならないよう、図書を活用した学習がどの学年も勧められるようにしていく。 【中学校】 ○ 引き続き、調べ学習用資料を充実させていくとともに、図書館の団体貸出等も計画的に利用し、電子媒体と紙媒体を併用して活用していく。

20	事業名	学校図書館への人的支援による機能の充実	所管課	真砂中央図書館 教育指導課 小・中学校
	内 容	学校図書館へ支援員を派遣し、学校図書館の読書センター・学習センター・情報センターとしての機能を充実させ、活性化を図る。		
	現 況	27年度から全区立小中学校へ支援員の派遣を開始した。 学校図書館での貸出数 283,793冊（令和元年度）		
	目 標	学校図書館ガイドラインに沿った運営を目指し、学校図書館の環境整備と児童・生徒への読書への意欲を高める工夫をし、利用促進を図る。また、今後の学校教育の状況に応じて、支援員の在り方等を検討する。		
	● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
	実 績	【真砂中央図書館】 ○ 学校図書館支援員の派遣 1日4時間/週4日（全小中学校） ○ 学校図書館での貸出数 419,925冊 ○ 学校図書館支援員との連絡会を年1回開催。 ○ 小学校図書館担当教諭と小学校図書館支援員、図書館担当者との連絡会を年1回、地域別に開催した。 ○ 真砂中央図書館が小中学校の学校図書館を訪問し、学校図書館支援員に支援内容について助言した。 【教育指導課】 ○ 読書環境の整備等のために、学校図書館ボランティアを小学校に配置している。 ○ 実績：小学校20校中13校に74名を配置した。 【小学校】 ○ 配置された学校図書館支援員による学校図書館の整備、ブックトーク、調べ学習の支援等 全校 ○ 教職員と学校図書館支援員の協働による学校図書館ガイドラインに沿った運営 全校 【中学校】 ○ 配置された学校図書館支援員による学校図書館の整備、ブックトーク、調べ学習の支援等 全校 ○ 教職員と学校図書館支援員の協働による学校図書館ガイドラインに沿った運営 9校		
	成果と課題	【真砂中央図書館】 ○ 学校図書館支援員の派遣により、児童・生徒への読書支援・学習支援を実施した。 ○ 真砂中央図書館からの小・中学校の学校図書館訪問により、各学校の状況を把握し、学校及び学校図書館支援員に対し課題の解決に向けての助言や支援を行うことができた。 【教育指導課】 ○ 学校が学校図書館ボランティアと連携し、館内装飾や請求記号の管理などの図書室環境整備を行った。 ○ 学校によりボランティアが見つからず、配置できないことがある。 【小学校】 ○ 学校図書館支援員により児童の図書活動を充実させているため、児童が学校図書館を快適に使うことができた。授業で使用するための図書の準備について、教職員と図書館支援員が協力し速やかに行うことができています。 【中学校】 ○ 教職員と学校図書館支援員が連携し、必要に応じて打ち合わせを行いながら学校図書館を運営している。		
	今後の取組	【真砂中央図書館】 ○ 児童・生徒の読書への意欲を高める工夫ができるよう、学校図書館支援員同士の情報交換の場を設け、必要に応じて助言を行う。また、教室増対策やタブレット端末の活用等、学校教育の状況を把握し、今後の学校図書館支援員の業務について、関係各課と協力して充実させていく。 【教育指導課】 ○ ボランティアの派遣を希望する学校に対応するために、引き続き予算措置をする。 ○ 実績のない学校へのボランティア職員や取組実績を紹介していく。 【小学校】 ○ 季節や記念日等の展示、イベントを通して、児童が図書への興味関心を上げられるようにする。引き続き教職員と学校図書支援員との連携を密にしていく。 【中学校】 ○ 引き続き、教職員と学校図書館支援員が連携しながら充実した図書館運営を行っていくとともに、新たな企画や展示により、生徒の読書への意欲を高めていく。		

● 進捗状況（令和4年度の取組等）	
実績	【真砂中央図書館】 ○ 学校図書館支援員の派遣 1日4時間/週4日（全小中学校） ○ 学校図書館での貸出数 389,980冊 ○ 学校図書館支援員との連絡会を年2回開催。 ○ 小学校図書館担当教諭と小学校図書館支援員、図書館担当者との連絡会を年1回、地域別に開催した。 ○ 真砂中央図書館が小中学校の学校図書館を訪問し、学校図書館支援員に支援内容について助言した。 【教育指導課】 ○ 読書環境の整備等のために、学校図書館ボランティアを小学校に配置している。 ○ 実績：小学校20校中13校に68名を配置した。 【小学校】 ○ 配置された学校図書館支援員による学校図書館の整備、ブックトーク、調べ学習の支援等 全校 ○ 教職員と学校図書館支援員の協働による学校図書館ガイドラインに沿った運営 19校 【中学校】 ○ 配置された学校図書館支援員による学校図書館の整備、ブックトーク、調べ学習の支援等 全校 ○ 教職員と学校図書館支援員の協働による学校図書館ガイドラインに沿った運営 9校
成果と課題	【真砂中央図書館】 ○ 学校図書館支援員の派遣により、児童・生徒への読書支援・学習支援を実施した。 ○ 真砂中央図書館からの小・中学校の学校図書館訪問により、各学校の状況を把握し、学校及び学校図書館支援員に対し課題の解決に向けての助言や支援を行うことができた。 ○ 小学校の学校図書館担当教諭と図書館担当者との連絡会については、年度当初は新型コロナウイルス感染症の影響が残っていたため全体会はとりやめ、学校図書館支援員も出席する地域別のみ開催し、連携を図った。学期ごとに行ってきた学校図書館支援員連絡会については、形骸化してきた傾向があり、今後の連絡会の開催方法やあり方を検討する必要がある。 【教育指導課】 ○ 学校が学校図書館ボランティアと連携し、館内装飾や請求記号の管理などの図書室環境整備を行った。 ○ 実績のない学校へのボランティア職員の紹介 【小学校】 ○ 学校図書館支援員による図書整備、学校図書館オリエンテーションやブックトークなど、図書に関わる支援・助言が適切に行われ、専門的な知識等により、学校図書を効果的に活用した学習ができている。図書担当教員と連携して行うことができた。 【中学校】 ○ 学校図書館支援員による学校図書館の整備や読書支援が行われていることはもちろん、担当教員と連携して充実した活動や図書館運営を行うことができている。
今後の取組	【真砂中央図書館】 ○ 引き続き、児童・生徒の読書への意欲を高める工夫ができるよう、学校図書館支援員同士の情報交換の場を設け、必要に応じて助言を行う。また、教室増対策やタブレット端末の活用等、学校教育の状況を把握し、今後の学校図書館支援員の業務について、関係各課と協力して充実させていく。 ○ 小学校の学校図書館担当教諭と図書館担当者との連絡会については地域別のみでなく、全体会も開催する。学校図書館支援員連絡会についてはキックオフミーティングとして年度初めに、教育委員会からも参加しての年1回開催とする検討をする。 【教育指導課】 ○ ボランティア派遣を希望する学校に対応するために、引き続き予算措置をする。 【小学校】 ○ 保護者ボランティアの協力を得つつ、引き続き、学校図書館支援員と連携しながら児童の読書活動を進めていく。 【中学校】 ○ 引き続き、教職員と学校図書館支援員が連携しながら充実した図書館運営を行っていく。

21

事業名	学校図書館の活用と資料の充実	所管課	学務課
内 容	計画的に廃棄や購入を行い、魅力ある本や調べ学習に必要な資料の充実を図り、生徒の学習支援、読書支援を行う。		
現 況	学校図書館図書標準充足率（令和2年度）100% 小学校13校、中学校7校 90～99% 小学校7校、中学校1校		
目 標	学校図書館図書標準充足率を100%とするとともに、学校図書館の読書センター、学習・情報センターとしての機能を発揮できる蔵書構成を備える。 新学習指導要領に対応した資料を揃えるとともに、データベースの活用、公共図書館との連携を図る。 感染症対策の観点から十分な複本を揃える。 読書バリアフリー法に対応するため、アクセシブルな資料の導入や読書補助具等の整備を行う。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○充足している学校 小学校16校、中学校7校 ○90～99% 小学校4校、中学校3校		
成果と課題	○学校図書館図書標準充足率が全校100%となるよう、予算措置を行い、充足率100%を達成した学校がある一方で、一部の学校では充足率100%を達成できていない。		
今後の取組	○引き続き、計画的な図書購入を促進し、整備していく。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 充足している学校 小学校15校、中学校9校 ○ 90～99% 小学校5校、中学校1校		
成果と課題	○ 学校図書館図書標準充足率が全校100%となるよう、予算措置を行い、充足率100%を達成した学校数が増加した一方で、一部の学校では充足率100%を達成できていない。		
今後の取組	○ 引き続き、計画的な図書購入を促進し、整備していく。		

目標3 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

すべての子どもたちが読書に親しめるよう、図書館の利用促進を図るとともに、子どもの読書活動に関する理解と関心が深まるよう、SNS等を活用するなど、保護者への積極的な働きかけを行います。

23	事業名	保護者等への啓発	所管課	真砂中央図書館 幼稚園・小・中学校 児童青少年課・保育園・児童館
	内 容	子どもの好む本や読んでほしい本を紹介し、また、講演会等を行い、読書や読み聞かせの大切さを伝える。		
	現 況	学校や幼稚園、保育園、図書館等、各々がお便りなどの発行、ボランティアによる読み聞かせ、講演会等による啓発を行っている。		
	目 標	読書の大切さなどについて、より多くの保護者に情報が届くように、SNS等を活用した情報発信を行う。また、講座等の実施や日常的な相談業務に取り組む。 計画を通じて、子どもの読書や図書館利用に対する理解が深まるよう努める。		
	● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	【真砂中央図書館】 ○ こども読書週間に各館で子どもと読書に関する本を特集した。 ○ 子育て応援メールマガジンを活用し、保護者に向けて発達段階に応じた読書や読み聞かせの大切さについてのメッセージを発信するとともに、図書館サービスの案内を行った。 ○ 託児サービス付の講演会を行った。（真砂中央） ○ おはなし会で紹介した本などを特集展示で紹介した。（真砂中央、本郷） ○ 大人向けのストーリーテリングを行い、大人が読み聞かせを体験する機会を提供した。（真砂中央、千石） ○ 小学校で読み聞かせボランティアを行っている人を対象とした読み聞かせ講座を実施した（真砂） ○ 絵本作家の読み聞かせイベントの際、保護者に向けて選書のコツを伝えてもらった。（根津） 【幼稚園】 ○ 園だより等を通じて啓発、本の紹介 3園 ○ 保護者による読み聞かせ・おはなし会の実施 7園 ○ 保護者会での情報提供や意識啓発 6園 ○ 日々の保育室への読書関係の掲示 7園 ○ 図書館の利用案内、ポスター・チラシ等の配布、掲示による図書館の利用推進 9園 ○ 保護者の読み聞かせボランティアの実績や感想を記した手紙の発行 3園 【保育園】 ○ 園だより等を通じて啓発、本の紹介 14園 ○ 保護者による読み聞かせ・おはなし会の実施 1園 ○ 保護者会での情報提供や意識啓発 10園 ○ 日々の保育室への読書関係の掲示 12園 ○ 図書館の利用案内、ポスター・チラシ等の配布、掲示による図書館の利用推進 13園 ○ 保護者の読み聞かせボランティアの実績や感想を記した手紙の発行 1園 【児童館】 ○ 図書館の行事案内の掲示等 全館（柳町児童館を除く） ○ 保護者による読み聞かせ 4館/15館 【小学校】 ○ 学校だより等で意識啓発 16校 ○ 朝読書などボランティアを通じた活動 16校 ○ 読書に関する保護者向け講演会・講座等の実施 3校 ○ 保護者会での情報提供や意識啓発 11校 【中学校】 ○ 学校だより等で意識啓発 8校 ○ 保護者会での情報提供や意識啓発 2校			

	成果と課題	【真砂中央図書館】 ○ 図書館に来館した保護者に対し、日常的な読書相談等の機会を通じて、家庭での読み聞かせや子どもが読書習慣を身に付けることの大切さを伝えることができた。 ○ 保護者向け講演会等を行ったことにより、読書の大切さについての理解が深まった。 ○ 講演会等において、本の作り手である講師から本づくりに関するエピソードも交えた本の紹介により、読書に関する保護者の理解が深まり、子どもたちの興味や視野を広げることが期待できる。 【幼稚園】 ○ 園だより等で保護者に向けた読み聞かせ啓発や絵本の紹介を実施し、また図書館の行事案内等を掲示することで保護者の図書館利用への関心を高めた。保護者による読み聞かせも実施した。 【保育園】 ○ 園だよりや保護者会、クラスの掲示で絵本の紹介及び、保育の中で子どもたちが本に触れる様子を知らせている。感染症対策の影響で保護者等による読み聞かせなどは控える園がまだ多かったが、今後は参加の機会を増やしていく。 【児童館】 ○ 昨年度と比べて、保護者による読み聞かせを実施する児童館が増えた。 【小学校】 ○ ほとんどの学校で学校だよりや図書館だより、保護者会を活用して保護者への情報提供や意識啓発を行った。朝読書の時間に保護者による読み聞かせを実施した学校もあった。SNSを活用した情報発信が不十分であると感じている学校もある。 【中学校】 ○ ほとんどの学校では家庭に配付する学校だよりや図書だよりの中で保護者への情報提供・啓発を行っている。公開授業や三者面談など保護者が来校する機会を生かして図書室の取り組みを情報発信し、啓発できた学校もあった。
	今後の取組	【真砂中央図書館】 ○ 引き続き、より多くの保護者に情報が届くように、ホームページやSNS等をはじめ効果的な情報発信等を検討し、活用する。 ○ 図書館内外での保護者からの日常的な相談業務に取組みながら、保護者向けのイベントについても充実させる。また親子で参加する乳児向けの行事の際には、保護者への啓発も兼ねた本の紹介等を行っていく。 【幼稚園】 ○ 保護者ボランティアの読み聞かせ回数増加やフィードバックを行い、引き続き、保護者への情報伝達と図書館利用の啓発を継続する。保育の中で図書館訪問をすることにより、親子で図書館への行くきっかけを作るようにする。 【保育園】 ○ 引き続き、お便りや掲示などで絵本に触れる楽しさを伝えていき、家庭でも好きな絵本を共有する機会を作る。保護者の保育士一日体験や保護者会での絵本の読み聞かせなどを実施し、日々の保育を保護者に伝える。 【児童館】 ○ 新しく購入した本、おすすめの本などの紹介を続けるとともに、幼児活動等での保護者による読み聞かせの実施を通して、図書への関心をもってもらう機会を増やす。 【小学校】 ○ 引き続き、保護者会やお便り等で情報発信を行う。また、保護者ボランティアによる読み聞かせを有効に活用し、読書についての意識計克を進めていく。 【中学校】 ○ 引き続き、学校ホームページの活用や、学校だより、学年だより、保護者会等を利用し、保護者への情報提供や意識啓発をする。

● 進捗状況（令和4年度の取組等）	
実績	【真砂中央図書館】 ○ こども読書週間に各館で子どもと読書に関する本を特集した。 ○ 子育てメールマガジンを活用し、保護者に向けて発達段階に応じた読書や読み聞かせの大切さについてのメッセージを発信するとともに、図書館サービスの案内を行った。 ○ 出版社の協力による親子で参加できる講演会を行った。（真砂中央） ○ おはなし会で紹介した本などを特集展示で紹介した。（真砂中央、本郷） ○ 大人向けのストーリーテリングを行い、大人が読み聞かせを体験する機会を提供した。（真砂中央、千石） ○ 絵本作家の読み聞かせイベントの際、保護者に向けて選書のコツを伝えてもらった。（根津） 【幼稚園】 ○ 園だより等を通じて啓発、本の紹介 5園 ○ 保護者による読み聞かせ・おはなし会の実施 6園 ○ 保護者会での情報提供や意識啓発 7園 ○ 日々の保育室への読書関係の掲示 6園 ○ 図書館の利用案内、ポスター・チラシ等の配布、掲示による図書館の利用推進 全園 ○ 保護者の読み聞かせボランティアの実績や感想を記した手紙の発行 3園 【保育園】 ○ 園だより等を通じて啓発、本の紹介 全園 ○ 保護者による読み聞かせ・おはなし会の実施 2園 ○ 保護者会での情報提供や意識啓発 13園 ○ 日々の保育室への読書関係の掲示 15園 ○ 図書館の利用案内、ポスター・チラシ等の配布、掲示による図書館の利用推進 15園 ○ 保護者の読み聞かせボランティアの実績や感想を記した手紙の発行 1園 【児童館】 ○ 図書館の行事案内の掲示等 全館 ○ 保護者による読み聞かせ 2館/16館 【小学校】 ○ 学校だより等で意識啓発 16校 ○ 朝読書などボランティアを通じた活動 16校 ○ 読書に関する保護者向け講演会・講座等の実施 3校 ○ 保護者会での情報提供や意識啓発 11校 【中学校】 ○ 学校だより等で意識啓発 8校 ○ 保護者会での情報提供や意識啓発 2校
成果と課題	【真砂中央図書館】 ○ 図書館に来館した保護者に対し、日常的な読書相談等の機会を通じて、家庭での読み聞かせや子どもが読書習慣を身に付けることの大切さを伝えることができた。 ○ インターネットを活用したオンデマンド型式も含めて保護者向けの講座等について検討していたが、新型コロナウイルス感染症の制限等が解除され、来館型保護者向け講演会等を行ったことにより、読書の大切さについての理解が深まった。 ○ 講演会等において、本の作り手である講師から本づくりに関するエピソードも交えた本の紹介により、読書に関する保護者の理解が深まり、子どもたちの興味や視野を広げることが期待できる。 【幼稚園】 ○ 園だより等で保護者に向けた読み聞かせ啓発や絵本の紹介を実施し、また図書館の行事案内等を掲示することで保護者の図書館利用への関心を高めた。保護者による読み聞かせも実施した。 【保育園】 ○ 園だよりや保護者会、クラスの掲示で絵本の紹介及び、保育の中で子どもたちが本に触れる様子を知らせている。感染症対策の影響で保護者等による読み聞かせなどは控える園がまだ多かったが、今後は参加の機会を増やしていく。 【児童館】 ○ 全館で図書館の行事案内の掲示等を行った。 ○ 保護者による読み聞かせの機会は、結果的に増やすことが出来なかった。 【小学校】 ○ ほとんどの学校で学校だよりや図書館だより、保護者会を活用して保護者への情報提供や意識啓発を行った。朝読書の時間に保護者による読み聞かせを実施した学校もあった。SNSを活用した情報発信が不十分であると感じている学校もある。 【中学校】 ○ ほとんどの学校では家庭に配付する学校だよりや図書だよりの中で保護者への情報提供・啓発を行っている。公開授業や三者面談など保護者が来校する機会を生かして図書室の取り組みを情報発信し、啓発できた学校もあった。

	【真砂中央図書館】 ○ 引き続き、より多くの保護者に情報が届くように、ホームページやSNS等をはじめ効果的な情報発信等を検討し、活用する。 ○ 図書館内外での保護者からの日常的な相談業務に取組みながら、保護者向けのイベントについても充実させる。また親子で参加する乳児向けの行事の際には、保護者への啓発も兼ねた本の紹介等を行っていく。 【幼稚園】 ○ 保護者ボランティアの読み聞かせ回数増加やフィードバックを行い、引き続き、保護者への情報伝達と図書館利用の啓発を継続する。また幼児が親しんでいる絵本の紹介や親子で図書館への行きたいきっかけ作りを行う。保護者会やSNSを通じて情報発信を拡充し、絵本との関わりを促進する取り組みを行う。 【保育園】 ○ 引き続き、お便りや掲示などで絵本に触れる楽しさを伝えていき、家庭でも好きな絵本を共有する機会を作る。保護者に絵本の良さや読み方を伝えるための工夫をし、保育士の研修を通じて専門的な知識を向上させ、保護者に発信できるようにする。 【児童館】 ○ 新しく購入した本、おススメの本などの紹介を続けるとともに、幼児活動等での保護者による読み聞かせの実施回数を増やす。 【小学校】 ○ 引き続き、保護者会やお便り等で情報発信を行う。また、保護者ボランティアと連携して、環境整備と読み聞かせを行っていく、その活動を紹介して啓発につなげる。 【中学校】 ○ 引き続き、学校ホームページの活用や、学校だより、学年だより、保護者会等を利用し、保護者への情報提供や意識啓発をする。
--	--

24

事業名	子どもへの啓発	所管課	真砂中央図書館
内 容	読書の楽しさや大切さを子どもたちに伝えるため、子どもと本に関わる人々がそれぞれの取組を充実させるとともに、連携を図る。		
現 況	関連部署や団体との連携を図り、子どもたちが本にふれる機会を増やし、イベントなどに取組んでいる。		
目 標	子どもたちの身近な場所に本があり、いつでも気軽に本を読める環境をつくるとともに、イベントや展示などを通じて、読書への関心を高める。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 児童コーナーにおいて特集展示を月替わりで行った他、本の面出しなど、積極的に本を手にとってもらえるような工夫をした。 ○ 千駄木下町まつりで図書館の紹介をした。（本郷） ○ 区内児童書出版社と連携し、児童書の原画展やパネル展示を行った。（小石川、本駒込、目白台、湯島、大塚） ○ 地域で活動してるグループ協力のもと、子ども会を開催した。（小石川） ○ 近隣の大学生による子ども会を開催した。（真砂中央、小石川、千石） ○ b-ラボ発行の機関紙「Cha！Cha！Cha！」の展示・配布を行った。		
成果と課題	○ 若い世代の大学生が読み聞かせを行ったことで、子どもたちはお話に関心を示し、楽しんでいた。 ○ 外部との連携イベントは、参加した子どもたちに普段の図書館とは異なる体験を提供することができた。 ○ 各種展示では関連本を展示することと貸出につなげることができた。 ○ 小学校高学年以上のイベント参加や来館が少なく、環境づくりが必要である。		
今後の取組	○ 図書館児童コーナーにおいては、日常のフロアワークなどを積極的に行い、子どもたちに読書の楽しさを伝える。 ○ 連携の幅を広げるため、地域の団体等への働きかけを引き続き行っていく。 ○ 普段あまり本を読まない子どもへのきっかけにもなるよう、引き続き工夫を凝らした行事や特集展示などを実施していく。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 区内児童書出版社と連携し、児童書の原画展示やパネル展示を行った。（小石川、本駒込、目白台、湯島、大塚） ○ 文京区青少年プラザ（b-ラボ）との連携行事を行った。（真砂中央、目白台） ○ 大学生の協力による子ども会を開催した。（真砂中央、千石）		
成果と課題	○ 小学校低学年以下向けの行事は参加が多く、本の貸出にもつながっている。また、令和4年度も出版社や文京区青少年プラザ（b-ラボ）との連携により、展示やイベントを展開することができた。イベントの際にブックトークや本の紹介を行うことで、貸出につながった。 ○ 連携の幅を広げるため、地域の団体への働きかけを行う必要がある。		
今後の取組	○ 図書館児童室においては、日常のフロアワークなどを積極的に行い、子どもたちの読書の楽しさを伝える。 ○ 団体等との連携については、引き続き、出版社や文京区青少年プラザ（b-ラボ）との連携のもと、魅力あるイベントの開催を行う。また、イベントの際には本の紹介を行い、子どもの身近な場所に本があり気軽に読書を楽しめる環境づくりに努め、多世代の読書への関心を高める。 ○ 協力先を増やし、連携の幅を広げることで、子どもたちが図書館を利用するきっかけづくりとし、読書への関心を高める。		

25

事業名	プレママ・プレパパへの啓発	所管課	真砂中央図書館
内 容	これからママ、パパになる方に向け、読み聞かせやわらべ歌などを通して、子どもとともに楽しむ読書の大切さを伝える。		
現 況	母子手帳交付時の「母と子の保健バッグ」に啓発チラシを同封している。プレママ・プレパパも参加する行事で読書の大切さを伝えている。		
目 標	SNSの活用など周知を強化し、気軽に参加してもらえるよう工夫し、内容の充実を図る。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 母子手帳を交付時に渡している「母と子の保健バッグ」に「プレママ・プレパパのみなさんへ」のチラシを封入して配付し、ブックスタート事業や各館でのプレママ・プレパパから参加できる行事について紹介した。 ○ プレママ・プレパパも参加できる児童行事を毎月開催している。 ○ 「子育て応援メールマガジン」において、産前の方を対象に図書館案内を配信した。		
成果と課題	○ 現在実施している行事への参加が少ないため、PRを継続するとともに啓発の方法について検討する。		
今後の取組	○ プレママ・プレパパが参加できる魅力的な行事を行っていく。 ○ 引き続き、読み聞かせの大切さなどを知ってもらうため、母子手帳交付時に図書館案内のチラシ封入やメールマガジン等の配信により、図書館行事を周知するとともに、来館をうながす。 ○ 図書館をより身近なものにしてもらえるよう、新たな啓発方法を検討する。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 母子手帳を交付時に渡している「母と子の保健バッグ」に「プレママ・プレパパのみなさんへ」のチラシを封入して配付し、ブックスタート事業や各館でのプレママ・プレパパから参加できる行事について紹介した。 ○ プレママ・プレパパも参加できる児童行事を毎月開催している。		
成果と課題	○ プレママ・プレパパの参加は少ないため、更なるPRの工夫が必要である。		
今後の取組	○ プレママ・プレパパが参加できる魅力的な行事を行っていく。 ○ 引き続き、読み聞かせの大切さなどを知ってもらうため、母子手帳交付時に図書館案内のチラシ封入やメールマガジン等の配信により、図書館行事を周知するとともに、来館をうながす。 ○ 図書館をより身近なものにしてもらえるよう、図書館員が母親学級等へ出向いて案内するなど、新たな啓発方法を検討する。		

26

事業名	文京区の子ども読書活動に関する情報窓口（ホームページ）の充実	所管課	真砂中央図書館
内 容	図書館ホームページ内の「子ども読書支援ページ（こどもの本に関わる方へ）」の充実を図り、情報発信の拠点とする。		
現 況	子どものホームページ内に図書館行事や講座案内、夏休みの小学生向けおすすめリスト情報、子ども読書活動推進計画の進捗状況調査結果等を掲載している。		
目 標	情報窓口のさらなる充実を図り、子どもと本に関わる人たちに広く読書活動の周知を図る。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 図書館行事、講座案内や図書館内の企画展示の様子などを随時更新した。 ○ 保護者や子どもの本に関わる人に向けて、子どもの本選びの一助とするため、図書館員が選んだブックリストや、毎月の各図書館の特集展示について写真等を交えて情報を発信した。 ○ 子ども読書活動推進計画の進捗状況調査結果を公表した。		
成果と課題	○ 適切な時期に速やかにページ情報を更新し、情報が広く公開されるよう努めた。		
今後の取組	○ 引き続き、適切な時期に速やかにページ情報を更新し、子どもと子ども読書活動に関わる人に対する情報発信源として、内容の充実を図る。 ○ より見やすい、探しやすいホームページとなるよう内容を見直していく。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 図書館行事や講座案内などを随時更新した。 ○ 保護者や子どもの本に関わる人に向けて、子どもの本選びの一助とするため、図書館員が選んだブックリストや、毎月の各図書館の特集展示について写真等を交えて情報を発信した。 ○ 子ども読書活動推進計画の進捗状況調査結果を公表した。		
成果と課題	○ 新たに登録したボランティア等に対し、子ども読書支援ページを紹介し、自身の活動に際し活用してもらう必要がある。		
今後の取組	○ 引き続き、ボランティア紹介ページの更新のほか、子どもと子ども読書活動に関わる人に対する情報発信源として、内容の充実を図る。 ○ 新たに登録したボランティアに対し、子ども読書支援ページを周知する。		

27

事業名	子どもの居場所としての図書館の利用推進	所管課	真砂中央図書館
内 容	様々な事情を抱える子どもたちに対し、きめ細かに図書館サービスを周知することで、家庭や学校以外に安心して居られる場所となるよう図書館の利用促進を図り、子どもたちの読書活動を推進する。		
現 況	様々な事情を抱える子どもなど、すべての子どもたちにとって、図書館が家庭や学校以外の居場所として利用できる。		
目 標	地域に開かれた身近な施設である図書館が、子どもたちの居場所として活用されるよう、様々な事業との連携を図りながら、図書館サービスを周知する。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 子どもが安心して滞在できるようフロアワークや巡回を行った。 ○ 子ども用閲覧席を設け、読書や調べもの学習に集中できる環境を整えている。 ○ 就学援助認定結果通知書送付時に図書館案内を同封した。 ○ 夏休み期間に会議室などに臨時の小中学生用の閲覧席を設けた。（目白台） ○ 館内に滞在する子どもに対しては、行事参加を促すなどの声かけを行い、目を配っている。 ○ カウンターから見える位置に子ども用閲覧席を設け、安全面にも配慮した環境を整えている。		
成果と課題	○ 学校の長期休暇中は閲覧席を利用する子どもが多い。スタッフが常駐しないフロアを長時間利用する子どももいるため、丁寧な声掛けや見守りに取り組んだ。 ○ 定期的に館内の巡回を行い、子どもたちが安心して過ごせる環境をつくっている。		
今後の取組	○ 引き続き、子どもたちが安心して過ごせる場所となるよう、丁寧な声掛けや見守りに取り組みながら、図書館サービスを周知する。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 子ども用閲覧席を設け、読書や調べもの学習に集中できる環境を整えている。 ○ 就学援助認定結果通知書送付時に図書館案内を同封した。 ○ 夏休み期間に会議室などに臨時の小中学生用の閲覧席を設けた。（水道端・目白台） ○ 館内に滞在する子どもに対しては、行事参加を促すなどの声かけを行い、目を配っている。		
成果と課題	○ 誰でも利用できる施設として、休日や放課後等に子どもたちが図書館を利用し過ごしている。職員が常駐・見回りをすることにより、子どもが安心して図書館を利用している。なお、ひとりで滞在する子どもに対し、常に職員の目が届くよう配慮し、丁寧な声掛けと定期巡回を行っている。		
今後の取組	○ 引き続き、子どもたちが安心して過ごせる場所となるよう、丁寧な声掛けや見守りに取り組みながら、図書館サービスを周知する。		

28

事業名	子ども向けホームページの充実	所管課	真砂中央図書館
内 容	読書へのきっかけ作りのために図書館ホームページの「こどもページ」「YAページ」を充実させる。		
現 況	おすすめ本のリストや子ども向け行事案内を掲載している。		
目 標	ホームページの機能を活用し、さらなる情報発信を積極的に行う。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 子ども向けページには、おすすめ本のリスト、特集などのお知らせを掲載した。 ○ YAページには、おすすめリスト、新刊や人気のある本の情報更新や各図書館のYAコーナーのお知らせを掲載した。 ○ 各図書館で開催される事前申込み行事については、ホームページの受付申込みフォームを活用した。		
成果と課題	○ 各図書館の特長を生かした展示特集や、行事の案内をこまめに更新し、ホームページの充実に取り組んだ。 ○ 掲示物や配布する印刷物の中にQRコードを入れ、子どもたちがより一層ホームページにアクセスしやすい環境を整えた。 ○ 電子図書館のホームページにおいて、児童・YAの特集を掲載し、随時更新している。それに合わせて、文京区図書館の子ども向けページにおいても電子図書館の案内を掲載する必要がある。		
今後の取組	○ 更新をこまめに行い、情報が新鮮なホームページづくりをする。 ○ 引き続き、図書館の魅力を伝えるホームページとなるようページを随時更新する。 ○ 子どものホームページにおいても、電子書籍についての周知と強化を図る。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 子ども向けページには、おすすめ本のリスト、展示特集などのお知らせを掲載した。 ○ YAページには、おすすめリスト、新刊や人気のある本の情報更新や各図書館のYAコーナーのお知らせを掲載した。 ○ 各図書館で開催される事前申込み行事については、ホームページの受付申込みフォームを活用した。		

	成果と課題	○ 各図書館の特長を生かした展示特集や、行事の案内をこまめに更新し、ホームページの充実に取り組んだ。またホームページからの行事参加申込ができるようになり、利便性が向上し、定着している。 ○ 電子書籍のPR強化を図るため、子どものホームページにおいても、電子書籍の案内を掲載する必要がある。
	今後の取組	○ 更新をこまめに行い、情報が新鮮なホームページづくりをする。 ○ 引き続き、図書館の魅力を伝えるホームページとなるようページを随時更新する。 ○ 掲示物や配布する印刷物の中にQRコードを入れる等、子どもたちがより一層ホームページにアクセスしやすい環境を整える。 ○ 子どものホームページにおいても、電子書籍についての周知と強化を図る。

29

事業名	「文京区子ども読書活動推進計画」実施のための進行管理	所管課	真砂中央図書館
内 容	計画推進のためのセンター機能を真砂中央図書館に置き、計画の進捗状況を管理する。		
現 況	「文京区子ども読書活動推進計画」の進捗状況について調査し、ホームページに掲載している。		
目 標	関係者による連絡会等を通して計画の進行を管理し、本計画の効果的な推進に努める。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○「文京区子ども読書活動推進計画」の進捗状況について調査を行い、進行管理を行った。 ○ 関係各所に「文京区子ども読書活動推進計画」の進捗状況調査の結果を報告し、課題改善に取り組めるよう情報を共有した。		
成果と課題	○ 関係各所が各事業について、成果と課題を個々に考察したうえで、より効果的に実行できるよう、課題改善に取り組む必要がある。		
今後の取組	○ 引き続き、進捗状況調査の成果と課題を踏まえ、関係各所が課題改善に取り組み、成果に結びつけていく。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○「文京区子ども読書活動推進計画」の進捗状況について調査を行い、進行管理を行った。		
成果と課題	○ 関係各所が各事業について、成果と課題を個々に考察したうえで、より効果的に実行できるよう、課題改善に取り組む必要がある。		
今後の取組	○ 引き続き、進捗状況調査の成果と課題を踏まえ、関係各所が課題改善に取り組み、成果に結びつけていく。		

目標4 地域団体等との協働による子どもの読書活動の活性化

子どもの読書活動に関わる地域の個人・団体、大学等との協働による取組を推進します。また、図書館及び学校図書館職員の研修の充実により、資質の向上と図書館の活性化を図ります。

30

事業名	職員・教員の研修の充実	所管課	真砂中央図書館 教育指導課 小・中学校
内 容	子どもの読書活動推進に関わる研修等を実施する。		
現 況	区立幼・小・中学校教育研究会を実施している。		
目 標	教職員と学校図書館支援員が協働して学校図書館運営にあたり、学校図書館の活用を図ることができるよう各種研修等を通して、職員・教員の資質向上を図る。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	【真砂中央図書館】 ○ 小学校教諭の図書館での研修受け入れ要望はなかった。 【教育指導課・小学校・中学校】 ○ 関連研修について各校に周知している。 ○ 情報共有や校内研修等の実施による研鑽（小学校12校・中学校5校） ○ 外部の研修や講演会等に参加（小学校9校・中学校4校）		
成果と課題	【真砂中央図書館】 ○ 要望に応じ、教職員の研修受入れ、区立中学校学校図書館研究部の講師派遣要請の対応など、教職員の研修支援を行う必要がある。 【教育指導課・小学校・中学校】 ○ 図書担当から学校全体に情報発信・研修を実施するに至らない学校もある。 ○ 小学校においては、図書研究部や講習会に参加し、資質向上を図っている。研修を通して、学校の読書の実態について共有し、効果的な対策を練ることができた。研修の機会がなかった学校も、校内では情報共有をし、図書担当教員を中心に情報発信を行った。 ○ 区立中学校教育研究会の図書館部で研修を行う以外、子どもの読書活動に関する校内研修等は行っていないが、情報共有を行い、資質向上に努めている。		

	今後の取組	【真砂中央図書館】 ○ 今後も教職員の研修を受け入れ、区立中学校学校図書館研究部の講師派遣要請を受けるなど、教職員の研修支援を行う。 【教育指導課・小学校・中学校】 ○引き続き関連研修の周知や関連資料の共有を行っていく。 ○ 小学校においては、引き続き、研修に参加して教職員の資質向上を図りながら、学んだ内容を校内へフィードバックし情報共有を行う他、学校図書館支援員と連携を取り、学校図書の活用を図っていく。 ○ 引き続き、区立中学校教育研究会の図書館部での研修内容を参加者は各校で共有し、外部の研修や講演会等を周知して教員の研修に参加する時間を確保する。機会や要望があれば校内研修会についても実施を検討する。また、情報共有の方法を工夫する。
	● 進捗状況（令和4年度の取組等）	
	実績	【真砂中央図書館】 ○「東京都公立学校中堅教諭等資質向上研修Ⅰ」における小学校中堅教諭の図書館実習を真砂中央図書館で受け入れた。（1人） 【教育指導課・小学校・中学校】 ○ 関連研修について各校に周知している。 ○ 情報共有や校内研修等の実施による研鑽（小学校12校・中学校3校） ○ 外部の研修や講演会等に参加（小学校9校・中学校3校）
	成果と課題	【真砂中央図書館】 ○ 小学校教諭の図書館での研修を受け入れるなど、教員の研修支援をすることができた。 【教育指導課・小学校・中学校】 ○ 図書担当から学校全体に情報発信・研修を実施するに至らない学校はある。 ○ 小学校においては、図書研究部や講習会に参加し、資質向上を図っている。研修を通して、学校図書館の活用の仕方を学ぶことができた。研修の機会がなかった学校も、校内では情報共有をし、図書担当教員を中心に情報発信を行った。 ○ 区立中学校教育研究会の図書館部で研修を行う以外、子どもの読書活動に関する校内研修等は行っていないが、情報共有を行い、資質向上に努めている。
	今後の取組	【真砂中央図書館】 ○ 今後も教職員の研修を受け入れ、区立中学校学校図書館研究部の講師派遣要請を受けるなど、教職員の研修支援を行う。 【教育指導課・小学校・中学校】 ○ 引き続き、関連研修の周知や関連資料の共有を行っていく。 ○ 小学校においては、引き続き、研修に参加して教職員の資質向上を図りながら、学んだ内容を校内へフィードバックし情報共有を行う。また、調べる学習や読書感想文の指導法のOJTを行う等、教員の資質向上の工夫に努める。 ○ 引き続き、区立中学校教育研究会の図書館部での研修内容を参加者は各校で共有し、外部の研修や講演会等を周知して教員の研修に参加する時間を確保する。機会や要望があれば校内研修会についても実施を検討する。また、情報共有の方法を工夫する。

31

事業名	図書館職員の研修の充実	所管課	真砂中央図書館
内 容	子どもの読書活動推進に関わる研修等に参加する。		
現 況	司書講習や、都立図書館等で実施している研修に参加している。各自が情報収集や講習会に参加するなど、自己啓発に努めている。		
目 標	各種研修等を通して図書館職員の資質向上を図る。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 館内研修の実施及び都立多摩図書館が主催する研修等に参加した。（真砂中央） ○ 館内研修、会社内研修をe-ラーニングも含めて実施したほか、司書講習、スキルアップ講座に参加した。（指定管理者）		
成果と課題	○ 館外研修参加者が受講した研修内容について図書館内へフィードバックし、職員間で情報を共有することにより、全体の資質向上につながった。		
今後の取組	○ 今後も館内外の研修に積極的に参加し、職員全体の資質向上に努める。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 館内研修の実施及び都立多摩図書館が主催する研修等に参加した。（真砂中央） ○ 館内研修、会社内研修をe-ラーニングも含めて実施したほか、司書講習、スキルアップ講座に参加した。（指定管理者）		
成果と課題	○ 館外研修参加者が受講した研修内容について図書館内へフィードバックし、職員間で情報を共有することにより、全体の資質向上につながった。		
今後の取組	○ 今後も館内外の研修に積極的に参加し、職員全体の資質向上に努める。		

32

事業名	区内の大学等との連携の推進	所管課	真砂中央図書館
内 容	区内にある大学、専門学校等と連携、協力し、子どもの読書活動推進を図る事業を実施する。		
現 況	大学生のボランティアグループによる児童行事を実施している。		
目 標	児童だけではなくYA世代に向けて、大学生と協働で本を紹介する等、より多くの大学と連携し、新たな事業展開を図る。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 新規学生ボランティアの登録が増え、活動の機会も増えた。（本郷） ○ 中央大学のボランティアグループ協力のもと、お話を開催した。また、同ボランティアに児童室を中心に排架を行ってもらった。（小石川） ○ 日本女子大学の学生が「児童文学研究会ひなぎく」として月に1回児童行事「ひなぎくおはなし会」のボランティア活動を行った。また、ボランティア育成として同部員全員に向け、資料を配布し、「読み聞かせ講座」を行っている。（目白台） ○ 東洋大学学生ボランティアIVUSA（イビューサ）によるこども行事を実施した。（真砂中央、千石） ○ 東京大学奇術愛好会によるYAイベントを実施した。（真砂中央）		
成果と課題	○ 新規学生ボランティアの登録が増え、活動の機会も増えた。今後は大学のサークルなどとも連携を図っていけると良い。 ○ 大学のボランティアセンター通してライブラリーパートナーの登録を行った。大学生の図書館ボランティアの要望が少なからずあることがわかった。 ○ 卒業などによる大学生の代替わりがあるが、連携を継続できている。特定の大学以外の大学との連携が課題。		
今後の取組	○ 引き続き、地域の大学等へ協力を依頼し、ボランティアの募集を行う。また、大学生ボランティアグループとYA世代に向けたイベント等の新たな事業展開を進める。 ○ 大学等との関係づくりを進めるとともに、専門性を生かした支援や協力による事業の検討を行う。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 新たに、区内全大学の協力のもと、学生向けの図書館ボランティア募集のポスターとチラシを掲出した。 ○ 日本女子大学の学生が「児童文学研究会ひなぎく」として月に1回児童行事「ひなぎくおはなし会」のボランティア活動を行った。また、ボランティア育成として同部員全員に向け、資料を配布し、「読み聞かせ講座」を行っている。（目白台） ○ 東洋大学学生ボランティアIVUSA（イビューサ）によるこども行事（ペープサートによるうごくえほんのじかん）を実施した。（真砂中央、千石） ○ 東京大学奇術愛好会によるYAイベントを実施した。（真砂中央）		
成果と課題	○ 区内大学で大学生のボランティア募集をしたことで、問い合わせが多数あり、新規学生ボランティアの登録が増え、活動の機会も増えた。 ○ 1館のみで行っていた大学生のボランティアグループによる児童行事を複数館に拡大した。 ○ 大学生ボランティアによるYAイベント等の事業展開等については、ボランティアグループにヒアリングを行うなどの検討を行った。今後、実現に向けた具体的な協議を進めていく必要がある。 ○ また、専門機関としての大学からの支援・協力による新たな事業については、区内大学の専門性等の情報収集を行った。今後、具体的な検討を進める必要がある。		
今後の取組	○ 引き続き、地域の大学等へ協力を依頼し、ボランティアの募集を行う。また、大学生ボランティアグループとYA世代に向けたイベント等の新たな事業展開を進める。 ○ 大学等との関係づくりを進めるとともに、専門性を生かした支援や協力による事業の検討を行う。		

33

事業名	区内にある児童図書出版社や書店との連携の推進	所管課	真砂中央図書館
内 容	区内にある児童図書出版社や書店と連携し講演会等を実施する。		
現 況	区内の児童図書出版社と共催し、絵本原画展や作家の講演会等を行っている。。		
目 標	出版社や書店等と連携して、講演会や原画展以外にも魅力的な事業を実施し、読書活動の推進に努める。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 福音館書店の編集者による子どもと読書の講演会を開催した。（真砂中央） ○ 区内児童書出版社と連携し、小石川、本駒込、目白台、湯島、大塚合同で児童書のパネル展示を行った。（写真絵本パネル展『お蚕さんから糸と綿と』アリス館） ○ こぐま社パネル展実施。（目白台）		
成果と課題	○ 出版社や書店と協力したイベントをきっかけとして、本の楽しさを伝えることができ、絵本の貸出につながった。 ○ 展示では、子どもだけではなく大人も絵本を手にとって見ていた。		
今後の取組	○ 引き続き、出版社や書店等との連携を広げ、読書活動の推進に努める。		

● 進捗状況（令和4年度の取組等）	
実 績	○ 福音館書店月刊「かがくのとも」編集者による子どもと読書の講演会を開催した。（真砂中央） ○ 福音館書店の協力により「junaida絵本パネル展」を実施した。（小石川、本駒込、目白台、湯島、大塚） ○ 「春休み子ども会」で区内書店の協力により絵本作家による絵本ライブを実施した。（小石川）
成果と課題	○ 出版社や書店と協力したイベントをきっかけとして、本の楽しみを伝えることができ、絵本の貸出につながった。 ○ インターネットを活用したオンデマンド形式も含めた行事の開催方法について検討していたが、新型コロナウイルス感染症の制限等が解除され、対面開催が出来るようになった。
今後の取組	○ 引き続き、出版社や書店等との連携を広げ、読書活動の推進に努める。

34

事業名	区関係機関との協力・連携体制の推進	所管課	真砂中央図書館
内 容	区の関係機関と情報交換を行い相互の連携による事業を行うなど、図書館内外での子どもの読書活動推進に努める。		
現 況	子育て支援課主催の「子育てフェスティバル」に参加するなど区の関係機関と連携している。		
目 標	教育委員会、子ども家庭部、保健衛生部、福祉部、社会福祉協議会等、乳幼児から高校生にかかわる機関との連携をより密にして、読書活動の推進を図る。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 生活衛生課の「ハッピーベジタブルフェスタ」に参加し、パネルシアターや絵本の実演をおこなった。同時期に各図書館内でも野菜に関する特集を行った。 ○ 子育て支援課の「子育てフェスティバル」に参加し、図書館案内の展示及びおはなし会を行った。 ○ 根津千駄木下町まつりに参加した。（本郷） ○ 大塚地域活動センター内で実施された特集展示やイベント用に絵本・児童書を貸出し、協力した。（小石川）		
成果と課題	○ 新型コロナウイルスが5類に移行したため、各種連携事業を活発に行い図書館事業を広く周知することができた。 ○ 関係機関と協力を行うことで、図書館以外で本に触れる機会を増やすことができた。		
今後の取組	○ 引き続き、関係機関との強固な連携のもと、様々な機会を通じて、図書館事業のPR強化を図り、子どもの読書活動の推進に努める。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 生活衛生課の「ハッピーベジタブルフェスタ」にWEB参加し、パネルシアターと図書館案内の動画を作成、公開した。同時期に各図書館内でも野菜に関する特集を行った。 ○ 子育て支援課の「子育てフェスティバル」に参加し、図書館案内の展示及びおはなし会を行った。 ○ 根津千駄木下町まつりに参加した。（本郷） ○ 「湯島青少年健全育成会」イベントに参加した。（湯島）		
成果と課題	○ 新型コロナウイルスの感染拡大防止による制限はまだ多少あったものの、関係機関からの要請に対しては全て協力し、図書館事業を広く周知することができた。		
今後の取組	○ 引き続き、関係機関との強固な連携のもと、様々な機会を通じて、図書館事業のPR強化を図り、子どもの読書活動の推進に努める。		

35

事業名	図書館ボランティア（ライブラリーパートナー）の育成と連携	所管課	真砂中央図書館
内 容	子どもの読書活動推進のために図書館ボランティアを育成し、活動の場を提供する。		
現 況	図書館ボランティア研修を実施している		
目 標	計画的に研修等を通して人材を育成し、活動の場を提供することで協働して図書館事業に取り組む。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 新規の図書館ボランティア登録があり、登録者が増加した。（新規登録：16人） ○ 図書館ボランティアを対象としたボランティア研修を初級向け、上級向けでそれぞれ行った。 ○ 図書館ボランティア主催による児童行事を開催した。また、図書館行事でのボランティアによる読み聞かせや、会場での誘導・見守りを行ってもらっている。 ○ 児童フロアの装飾物などの作成等をしてもらった。 ○ 保育園等への出張おはなし会に職員と共に参加してもらった。 ○ 図書館ボランティアに活動の場を提供し、布の絵本の製作をお願いした。（小石川） ○ 中央大生のボランティアに、お話会と排架、それぞれに事前研修を行った。（小石川） ○ 日本女子大学のボランティアに「読み聞かせ講座」を実施した。（目白台）		
成果と課題	○ 図書館ボランティアの活動の場を提供し、ボランティアとの協働により図書館事業に取り組んだことで、充実した内容の行事を実施し、子どもたちが楽しむことができた。 ○ 研修を実施したことで、絵本の持ち方、選び方、読み方の基礎を理解した上で読み聞かせの実践をすることができた。		

	今後の取組	○ 引き続き、研修については、着実に行えるように実施方法を工夫する。 ○ 活動の場を提供することにより、図書館ボランティアの更なるスキルアップを図り、人材育成に努める。 ○ ボランティアの経験やスキル等に合った活躍の場を提供する。
	● 進捗状況（令和4年度の取組等）	
	実績	○ 新規の図書館ボランティア登録があり、登録者が増加した。（新規登録：13人） ○ 図書館ボランティアを対象としたボランティア研修を行った。 ○ 図書館ボランティア主催による児童行事を開催した。また、図書館行事でのボランティアによる読み聞かせや、会場での誘導・見守りを行ってもらっている。 ○ 児童フロアの装飾物などの作成等をしてもらった。 ○ 図書館ボランティアに活動の場を提供し、布の絵本の製作をお願いした。（小石川） ○ 図書館ボランティアの学生向けに「読み聞かせ講座」を実施した。（目白台）
	成果と課題	○ 新型コロナウイルスによる制限等がなくなり、図書館ボランティアの活動の場を提供し、ボランティアとの協働により図書館事業に取り組んだことで、充実した内容の行事を実施し、子どもたちが楽しむことができた。 ○ 図書館ボランティアのための研修が実施でき、スキルアップの一助となった。 ○ 図書館ボランティアの新規登録が増え、行事補助などの場を拡充することで、図書館ボランティアの活躍も広がった。
	今後の取組	○ 引き続き、研修については、着実に行えるように実施方法を工夫する。 ○ 活動の場を提供することにより、図書館ボランティアの更なるスキルアップを図り、人材育成に努める。 ○ ボランティアの経験やスキル等に合った活躍の場を提供する。

36

事業名	学校図書館のボランティアへの支援	所管課	真砂中央図書館
内 容	学校図書館のボランティア向けの研修等を実施する。		
現 況	小学校図書館のボランティア向けに研修を実施している。		
目 標	研修等を通してボランティアの資質向上を図る。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	○ 各学校での読み聞かせ活動をするボランティアに対して図書館で支援した。 ○ 「小学校での読み聞かせボランティア養成講座（全4回）」を実施した。（真砂中央）		
成果と課題	○ ボランティア活動を行っている人に対し、各学校の状況に合わせた活動を行ううえでの相談に対し、助言するなど、支援した。 ○ 「小学校での読み聞かせボランティア養成講座（全4回）」を実施することができ、選書や読み聞かせの技術向上の支援ができた。 ○ 講座の周知方法等を工夫し、よりたくさんの参加者を募るよう努める。		
今後の取組	○ 引き続き、学校図書館ボランティア向けに研修等を実施し、読み聞かせの本の選び方や、読み聞かせの方法などの技術向上を支援する。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	○ 各学校でのボランティア活動が再開され、工夫して活動するボランティアに対して図書館で支援した。 ○ 「小学校での読み聞かせボランティア養成講座（全4回）」を実施した。（真砂中央）		
成果と課題	○ 制限されていた学校でのボランティア活動が徐々に再開し、各学校の状況に合わせた活動の工夫等の相談に対し、助言するなど、支援した。 ○ 「小学校での読み聞かせボランティア養成講座（全4回）」を実施することができ、選書や読み聞かせの技術向上の支援ができた。		
今後の取組	○ 引き続き、学校図書館ボランティア向けに研修等を実施し、読み聞かせの本の選び方や、読み聞かせの方法などの技術向上を支援する。		

37

事業名	地域社会における読書活動を推進する団体等との連携の推進	所管課	真砂中央図書館 社会福祉協議会
内 容	子どもの読書活動に関わる地域や民間の関係団体の活動を支援し、連携を深め、情報交換や人的交流を促進する。		
現 況	ボランティア団体やふれあいいきいきサロンの活動のPRや団体向けに読み聞かせの講座等を行い、読み聞かせの活動を支援している。		
目 標	地域社会で子どもの読書活動推進に関わる人材や団体を支援し、図書館との連携を図る。		
● 進捗状況（令和5年度の取組等）			
実 績	【真砂中央図書館】 ○ ボランティアセンターで作成されたブックカバーと葉の寄贈を受け入れ、窓口で配布した。 【社会福祉協議会】 ○ 読み聞かせを行っているボランティア団体に研修費を助成、サロン活動(5団体)に活動費支給の間接的な支援を行った。		
成果と課題	【真砂中央図書館】 ○ ボランティアセンターで作成されたブックカバー等が大変好評であった。 【社会福祉協議会】 ○ 間接的な支援であり、直接的な活動に関わっているわけではない。		
今後の取組	【真砂中央図書館】 ○ 依頼があった場合は読み聞かせ講座を行い、活動を支援する。また、地域で活動するボランティア団体等の実態等を把握するため、ボランティアセンターと連携をしていく。 【社会福祉協議会】 ○ 引き続き、間接的な支援を継続する。		
● 進捗状況（令和4年度の取組等）			
実 績	【真砂中央図書館】 ○ 文京区お届け講座に基づく依頼により、読み聞かせボランティアをしている社会教育関係団体1団体29人に対し、読み聞かせ講座を行った。(真砂中央) ○ ボランティアセンターで作成されたブックカバーと葉の寄贈を受け入れ、窓口で配布した。(真砂中央) ○ ボランティアセンターのボランティアに作成物を依頼した。(真砂中央) 【社会福祉協議会】 ○ ボランティア団体への研修助成や、ふれあいいきいきサロンの活動団体への活動費支給が、読み聞かせ活動をしている団体に対する間接的な支援になっている。(5団体)		
成果と課題	【真砂中央図書館】 ○ 対面による読み聞かせ講座が再開できた。 ○ ボランティアセンターと連携することにより、図書館ボランティアの登録につなげることができた。 【社会福祉協議会】 ○ ボランティア団体の研修及び活動が再開し、研修助成や活動費の支給を行った。		
今後の取組	【真砂中央図書館】 ○ 引き続き、オンライン・オフラインと臨機応変に読み聞かせ講座を行い、活動を支援する。また、地域で活動するボランティア団体等の実態等を把握するため、ボランティアセンターと連携をしていく。 【社会福祉協議会】 ○ 引き続き、読み聞かせを行っている団体の研修助成やふれあいいきいきサロンの活動費支給は行っていく。		